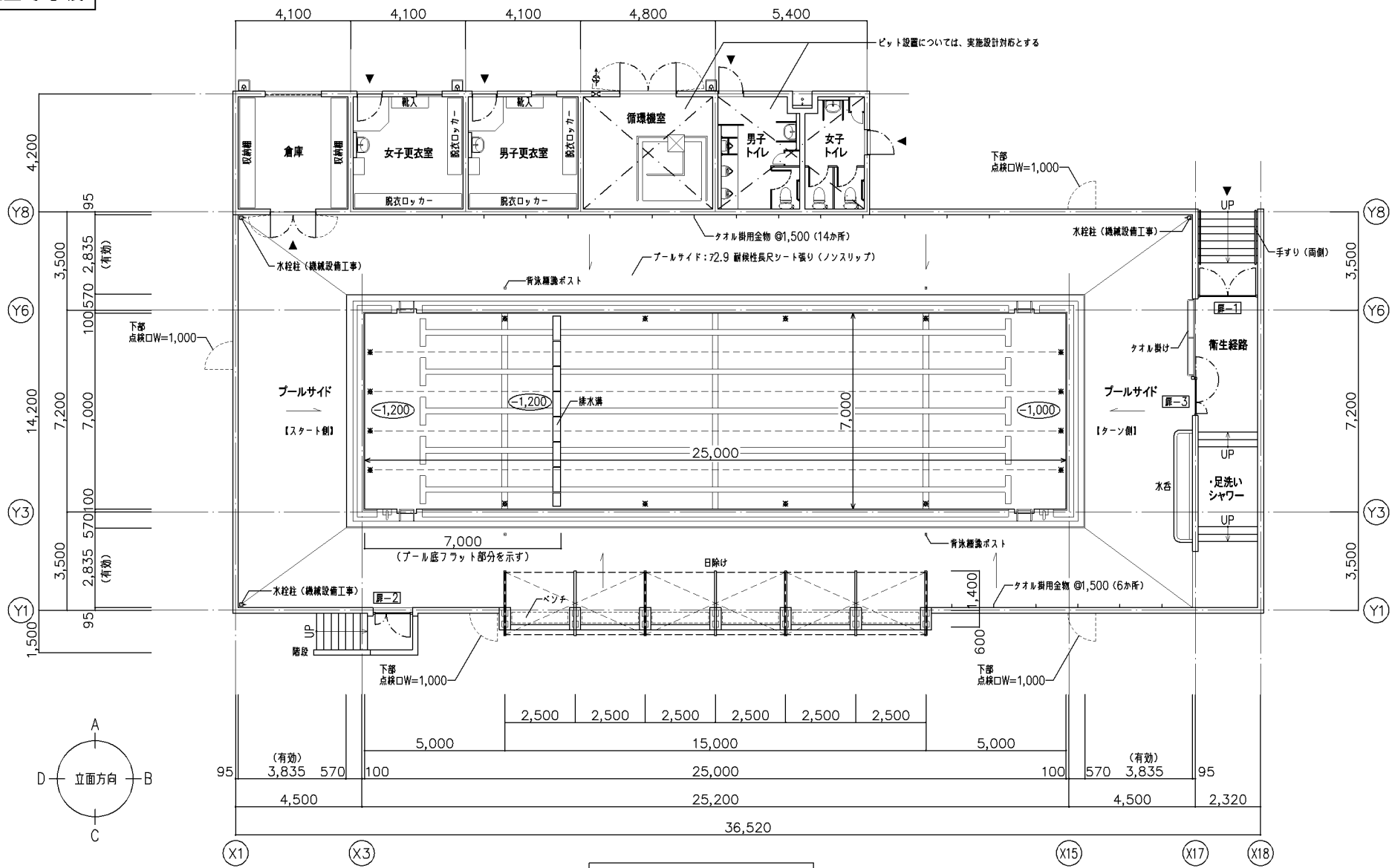


「横浜市小・中学校標準図プール95型」20改

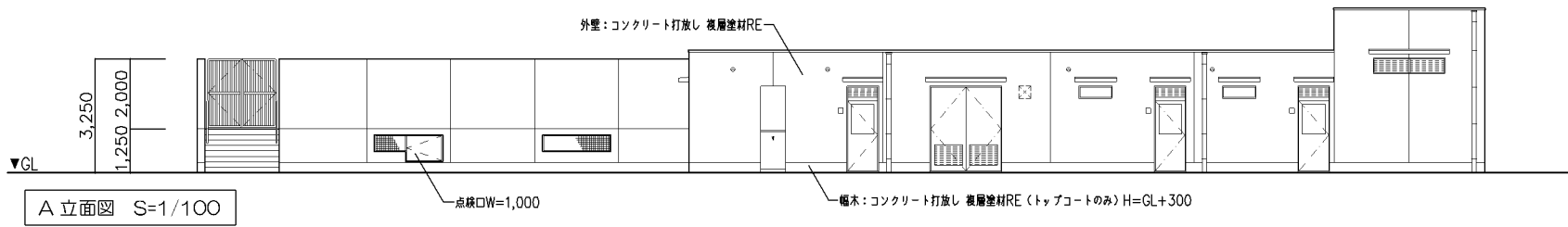
図 面 リ ス ト							
区分	図番	図面名称	縮尺	区分	図番	図面名称	縮尺
意匠 地上型 ・ 小学校	A-01	図面リスト	NO SCALE	附帯	A-23	小学校・中学校地上型附帯平面図、断面図	1/50.1/100
	A-02	小学校プール平面図・立面図	1/100		A-24	男女更衣室 断面詳細図・展開図	1/30.1/50
	A-03	小学校プール基礎伏図・壁伏図、断面図	1/10.1/100		A-25	男女トイレ 断面詳細図・展開図	1/10.1/30.1/50
	A-04	小学校プール詳細図・タイル・金物リスト	1/50		A-26	倉庫 断面詳細図・展開図	1/30.1/50
	A-05	小学校プールシャワー・足洗い、水呑場詳細図	1/10.1/20.1/50		A-27	循環機室 断面詳細図・展開図	1/30.1/50
地上型 ・ 中学校	A-06	中学校プール平面図・立面図	1/100		A-28	建具表	1/50
	A-07	中学校プール基礎伏図・壁伏図、断面図	1/10.1/100				
	A-08	中学校プール詳細図・タイル・金物リスト	1/50				
	A-09	中学校プールシャワー・足洗い、水呑場詳細図	1/10.1/20.1/50				
地上型 ・ 共通図	A-10	平面・断面詳細図	1/10.1/20				
	A-11	ディテールシート（1）	1/2.1/5.1/20				
	A-12	ディテールシート（2）	1/5.1/10.1/20				
	A-13	ディテールシート（3）	1/20.1/50				
	A-14	ディテールシート（4）	1/2.1/5.1/20				
屋上型 ・ （参考図）	A-15	屋上型 プール本体仕様書	NO SCALE				
	A-16	屋上型 小学校プール平面図・立面図	1/100				
	A-17	屋上型 中学校プール平面図・立面図	1/100				
	A-18	平面・断面詳細図	1/20				
	A-19	ディテールシート（1）	1/2.1/5.1/20				
	A-20	ディテールシート（2）	1/2.1/5.1/10.1/20				
	A-21	ディテールシート（3）	1/20.1/50				
	A-22	ディテールシート（4）	1/2.1/5				

改定の経緯	設計上の留意点 ・各図面の縮尺は、A1判で表記している。	横浜市建築局				工事名	「横浜市小・中学校標準図プール95型」20改							
		年月日	令和3年3月	縮尺	NO SCALE	図面名称	図面リスト							
		設 計 者				施設番号		線番号	完成 年度	図面 種類	図面枚数	図面番号		
												A-01		

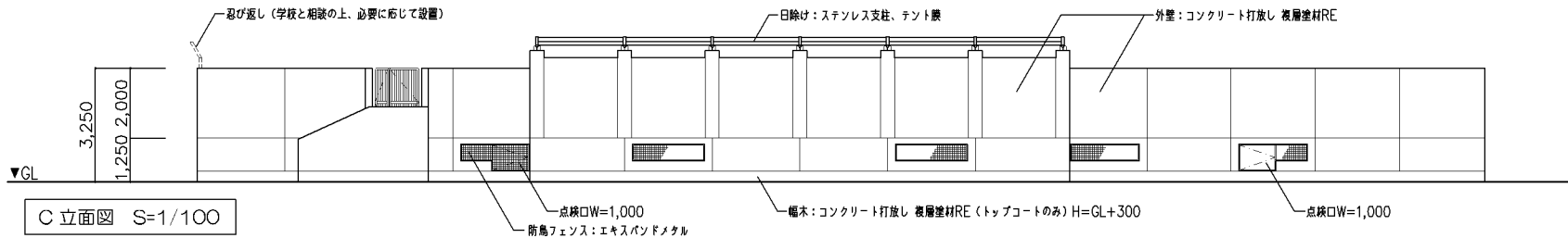


プール平面図 S=1/100

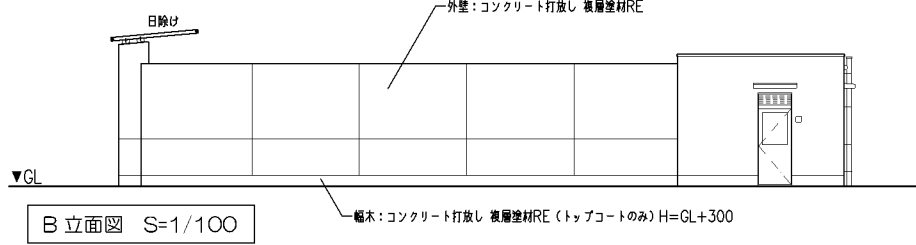
凡 例
※ : コースロープ、仕切用ロープ位置を示す



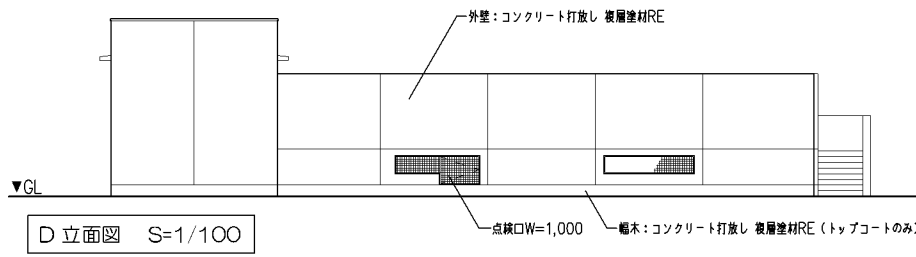
A 立面図 S=1/100



C 立面図 S=1/100



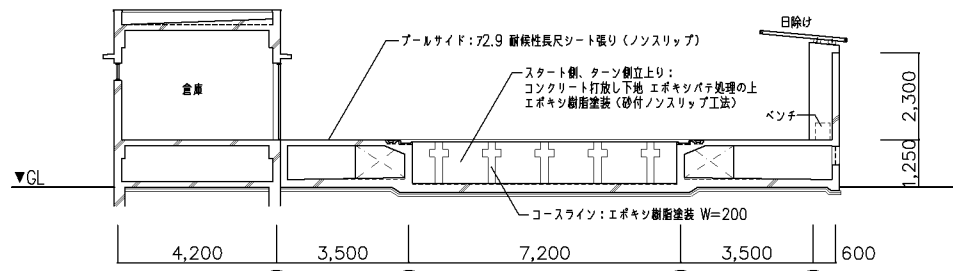
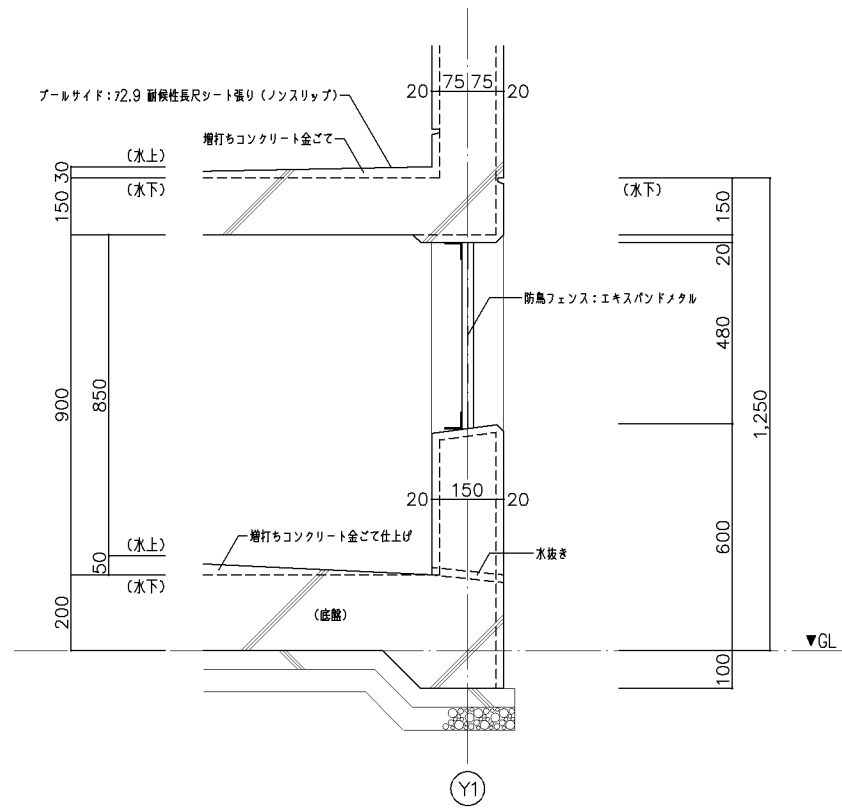
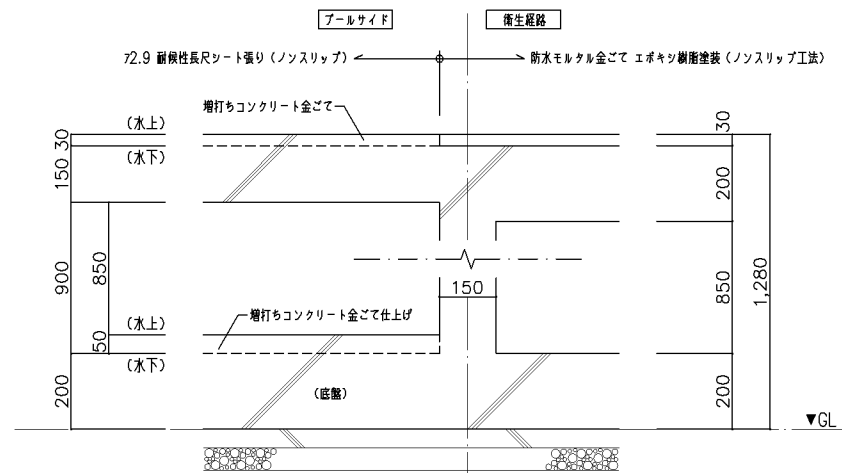
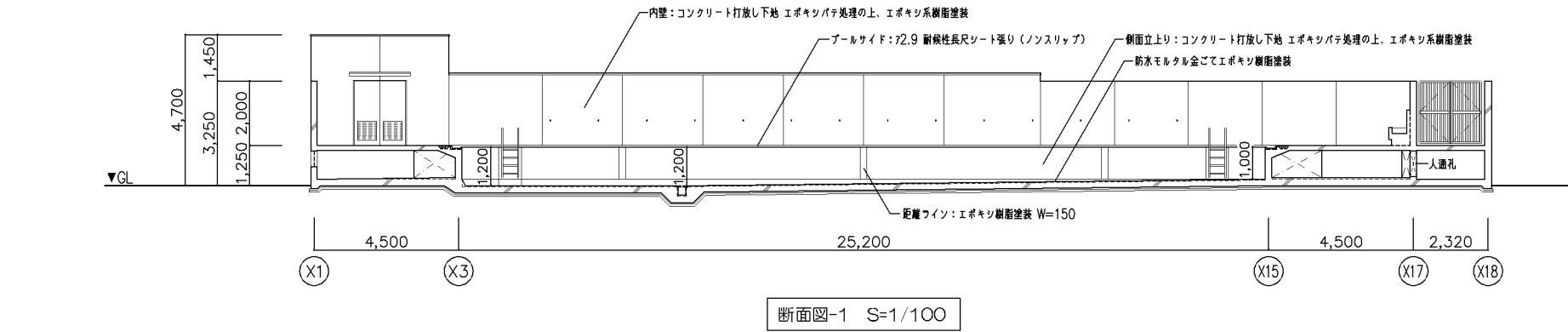
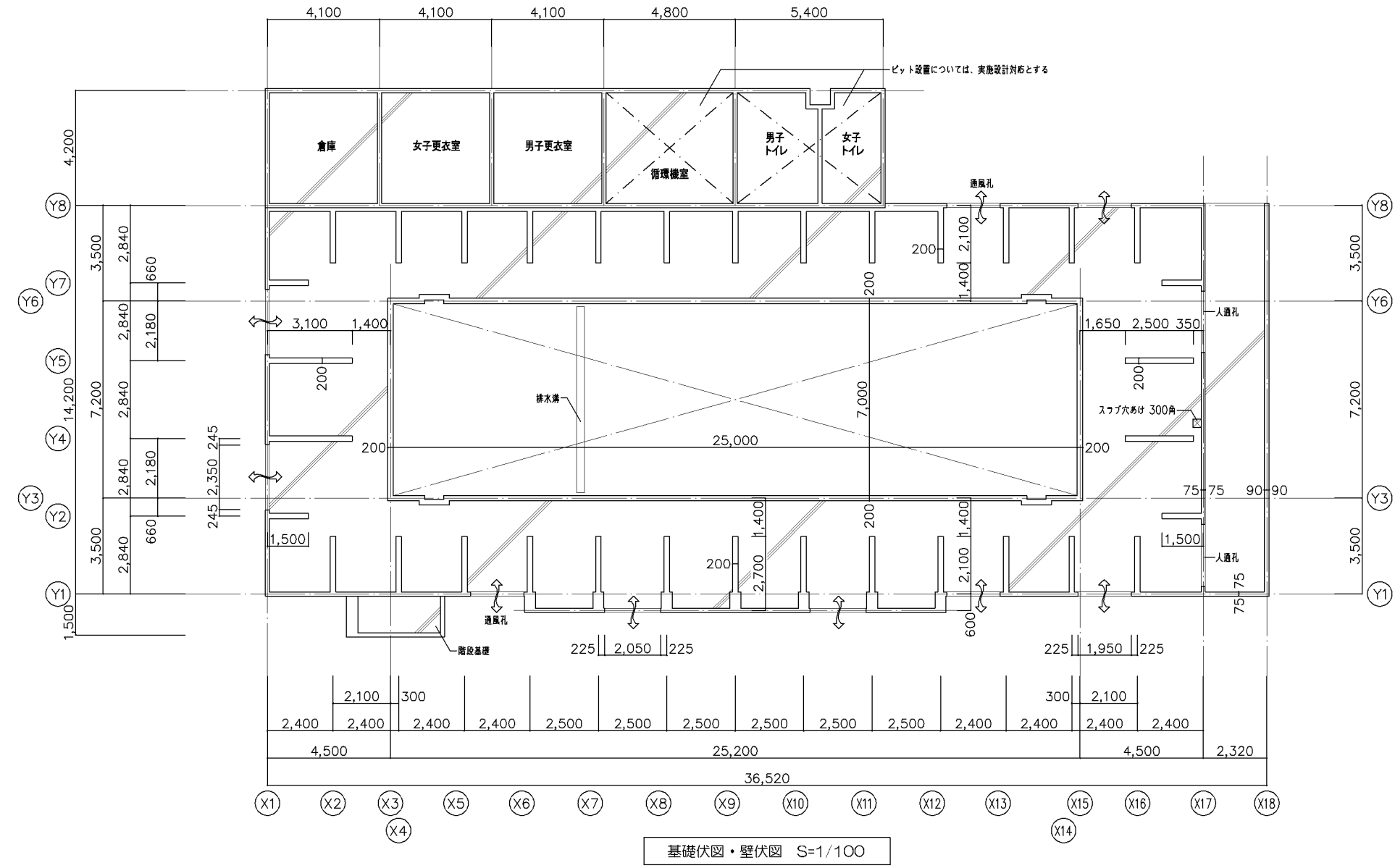
B 立面図 S=1/100



D 立面図 S=1/100

地上型 小学校プール 規模・付属品リスト・特記仕様			
規模	25,000×7,000	水深 1,000~1,200	@1.4×5コース
付属品リスト	名 称	材 質	数 量
	1) コースロープ 60φ×25m	ポリエチレン樹脂製	4 本
	2) 仕切用ロープ 60φ× 7m	ポリエチレン樹脂製	4 本
特記仕様	※金物類については、金物リスト参照		
	1) 使用するステンレス製品はSUS304とする。		
	2) エポキシ系樹脂塗装は厚さを120μ以上とする。		
	3) 塗装ノンスリップ工法におけるスタート、ターン立上り部分の砂は7号、その他は6号とする。		
	4) 水泳プール内側打放し部分の塗装仕様は次の通りとする。		
	① コンクリート面 素地調整（パテ処理）		
	② エポキシ系樹脂塗料（70～80％液）捨て塗り		
	③ ビンホール埋め		
	④ エポキシ系樹脂塗料 中塗り		
	⑤ エポキシ系樹脂塗料 上塗り		
	水泳プール内側立上り面の凸部及び目違い部をサンダー掛けすること。なおジャンカ等が		
	出来てしまった 場合は、監督員と充分打合せを行い、その指示により適切な補修を行い、		
	かつサンダー掛け等の表面処理を行う。		
	5) コースライン、距離ラインは、エポキシ樹脂塗装1回塗りとする。		
	6) コンクリート強度及びスランプ値 Fc=21 S=15cm（水セメント比 50％以下）		
	7) コンクリート打放し用型枠はベニヤ合板 1/2以上を使用し、打放し面に合成樹脂系塗装を		
	コーティングしたもの、又は同等品以上とする。		
	8) 木コンクリート埋めはシリコン材で十分にシーリングすること。		
	9) プール内部の面取りについては、体に触れる箇所については、全て面取り仕様とする。		
	10) エキスパンダメタル取付ボルトはボルト頭を内側に締め付け、ボルト突出部は切断するか、		
	袋ナットを取り付ける。点検口は、錠付とする。		
	11) 外部排水溝については実施設計対応とする。		
	給水、排水等については、周囲の状況を調査確認して施工すること。		

改 定 の 経 緯		設 計 上 の 留 意 点		横浜市建築局		工事名	「横浜市小・中学校標準園プール95型」20改			
		・図示の構造については参考とし、詳細は実施設計による。 ・プール本体以外の衛生経路、出入口、附帯施設のレイアウトは、全て参考であり実施設計時に避難経路と共にレイアウトの検討および確定を行うこと。 ・日除けテントの設置位置、納まりについては、安全性、耐久性、コスト等を踏まえて実施設計対応とする。 ・附帯施設（トイレ、循環機室）へのピット設置については、実施設計対応とする。 ・消防用採水口の取付け位置については、消防および設計担当者協議の上、実施設計対応とする。		年月日 令和3年3月 縮尺 1/100		図面名称	小学校 プール平面図・立面図			
				設 計 者		施設番号	継番号	完成年度	図面種類	図面枚数
										図面番号
										A-02



改定の経緯			設計上の留意点			横浜市建築局		工事名	「横浜市小・中学校標準図プール95型」20改				
			図示の構造については参考とし、詳細は実施設計による。			年月日	令和3年3月	縮尺	1/10,1/100		図面名称	小学校プール基礎伏図・壁伏図、断面図	
			プールサイドおよび衛生経路下部の水抜き処理については、実施設計対応とする。			設計者			施設番号	棟番号	完成年度	図面種類	図面枚数
			・附帯施設（トイレ、循環機室）へのピット設置については、実施設計対応とする。									図面番号	
												A-03	

災害時下水直結式仮設トイレ用下水道管整備工事 特記仕様書

令和3年3月

環境創造局管路保全課

1. 適用範囲

この特記仕様書は、横浜市環境創造局および土木事務所が発注する災害時下水直結式仮設トイレ用下水道管整備工事において適用する。

2. 総則

工事の種類、規模、施工条件等によりこの特記仕様書によりがたい場合、設計図書に疑義がある場合は、監督員と協議すること。

3. 施工管理

請負人は、施工に当たっては、環境創造局の定める「土木工事(下水道)施工管理基準」により工程、出来形、品質の管理を行わなければならない。ただし、この仕様書に定める場合および監督員と協議し承諾を受けた場合はこの限りではない。

3.1. 貯留管きょ部における出来形管理

貯留弁付マンホールより上流部分である、貯留管きょ部(φ 450VU、0.0%～25.0%)については、出来高管理における測定を行うときは、表-1「貯留管きょ部における出来形管理基準及び規格値」のとおりとする。ただし、監督員と協議し承諾を受けた場合はこの限りではない。

3.2. 品質管理

- (1) 貯留管きょ部における硬質塩化ビニル管(φ 450 L=1.5m および L=2.0m)については、JSWAS K-1 と同等の性能を有することが確認できる検査結果等の書類を提出すること。
- (2) 立ち上げ管および小型塩ビマンホールの鋳鉄防護ふたについて、JSWAS G-3 と同等の性能を有することが確認できる検査結果等の書類を提出すること。
- (3) 貯留弁付マンホールの躯体について、この仕様書に定める性能を有することが確認できる検査結果等の書類を提出すること。
- (4) 貯留弁付マンホール用の鋳鉄製防護ふた親子蓋について、JSWAS G-4 と同等の性能を有することが確認できる検査結果等の書類を提出すること。ただし、子ふたの材質においては、JSWAS G-3 と同等の性能を有することが確認できる検査結果等の書類を提出すること。

3.3. 貯留管きょ部における写真管理

貯留弁付マンホールより上流部分である、貯留管きょ部(φ 450VU、0.0%～25.0%)については、写真管理は、表-2「貯留管きょ部における写真撮影箇所一覧表」のとおりとする。ただし、監督員と協議し承諾を受けた場合はこの限りではない。

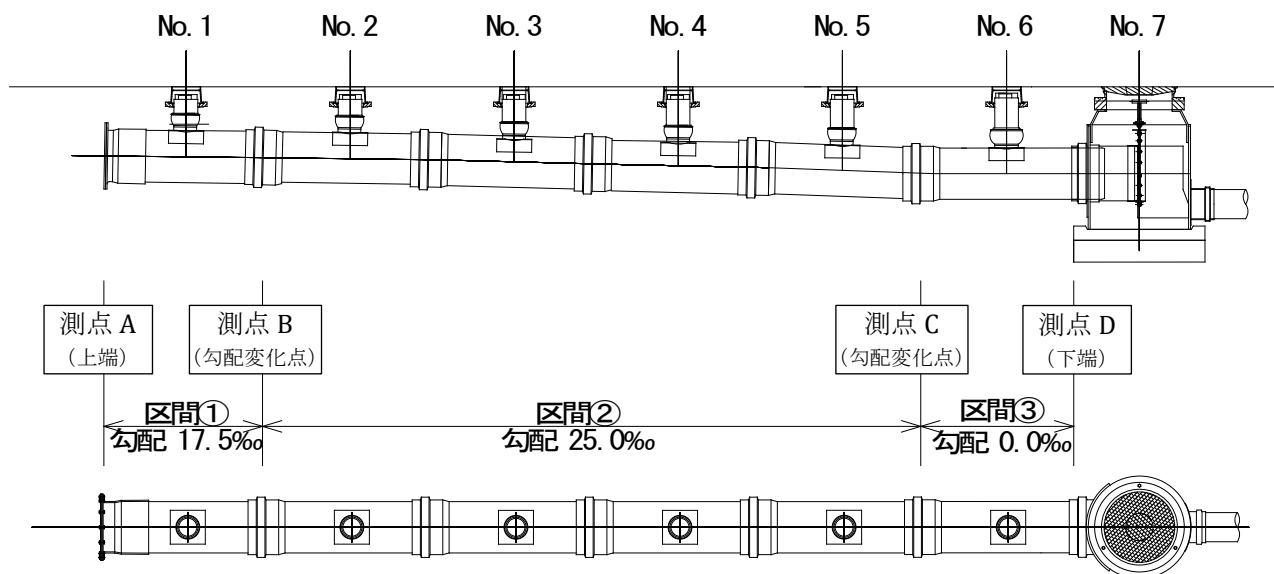


表-1 貯留管きょ部における出来形管理基準及び規格値

種別	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	概要
管路土工	床付け	基準高▽ (床付面)	±30mm	測点 B,C において測定する。		
		幅(B)	−50 mm			
管基礎工	改良土基礎	基準高▽	±30 mm	測点 B,C において測定する。		
		幅(B)	−50 mm			
		厚さ(h)	−30 mm			
管布設工	管布設	管底高▽	±30 mm	測点 A,B,C,D において測定する。		「通り」とは、隣接する基準測点の管底高（施工後）を結んだ直線に対する凹凸の最大値。
		勾配	区間①:5‰~25.0‰ 区間②:20‰~30‰ 区間③:逆勾配とならないこと			
		中心線の変位	±50 mm			
		通り	たるみ無し(目視)			
		延長	−200 mm			
		総延長	−200 mm			

表-2 貯留管きょ部における写真撮影箇所一覧表

区分			工種	写真管理項目			摘要
				撮影項目及び内容	撮影頻度[時期]	提出頻度	
出来形管理	管きよ工(開削)	管路土工	管路掘削	掘削状況	1回[施工中]	代表箇所各1枚	
				基準高	1回[施工後]		
				幅			
			管路埋戻	埋戻状況	1回[施工中]	代表箇所各1枚	
			建設発生土	処分状況	路線ごと		
		管布設工	管きよ	布設状況 (特にジョイント部)	1回[施工中]	代表箇所各1枚	
		管基礎工	改良土基礎	施工状況	1回[施工中]	代表箇所各1枚	厚さ、設置状態をリボンテープ、箱尺等で寸法を明示して撮影する。
				基準高	1回[施工後]		
				幅			
				厚さ			
		立ち上げ管工	立ち上げ管設置工	設置状況	1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	

4. 管きょ

- (1) 地震対策として、管きょの継手はゴム輪継手を使用すること。
- (2) 貯留管きょ部におけるφ450VU L=1.5m、L=2.0mの仕様について、JSWAS K-1に適合したものまたは同等以上の物とする。

5. 災害時下水直結式仮設トイレ用下水道管铸铁防護ふた

立ち上げ管および小型塩ビマンホールの铸铁防護ふたの仕様については、以下のとおりとする。

- (1) JSWAS G-3に適合したものまたは同等以上の物とする。
- (2) 開閉は、横浜市指定の器具により出来るものとする。
- (3) 表面模様は、別紙構造図を参考とする。
- (4) 自動錠付き構造とする。
- (5) こじり穴、開閉器具用穴およびちょう(蝶)番部は、雨水および土砂の流入を極力防止できる構造とする。

6. 貯留弁付マンホール

貯留弁付マンホールの仕様については、以下のとおりとする。

- (1) 貯留弁付マンホールの躯体は、「下水道施設の耐震対策指針と解説(2014年版(公社)日本下水道協会)」に定める耐震性能を有すること。
- (2) 貯留弁付マンホールの上流側と下流側とが、水密性のある弁でせき止められており、弁は器具を用いずに容易に開閉できる構造であること。
- (3) 構造については、別紙構造図を参考とする。
- (4) ふたは、铸铁親子ふたとし、構造については別紙図面を参考とする。

- (5) ふたは、JSWAS G-4 と同等以上の性能を有すること。ただし、子ふたの材質においては、JSWAS G-3 と同等以上の性能を有すること。なお、ゴムチップ仕様の防護蓋については、親ふた・子ふたともに JSWAS G-3 と同等以上の性能を有すること。
- (6) ふたの開閉は、横浜市指定の器具により出来るものとする。
- (7) ふたは自動錠付き構造の、飛散防止機能を有するものとする。
- (8) こじり穴、開閉器具用穴およびちょう(蝶) 番部は、雨水および土砂の流入を極力防止できる構造とする。

7. 看板

災害時下水直結式仮設トイレ用下水道管整備工事において、看板を設置する場合の仕様については、以下のとおりとする。

7.1. 構造

- (1) 構造については、別紙構造図を参考とする。
- (2) 使用する部材については、図面表記と同等品とする。

7.2. データ

看板に掲示する内容は本市よりデータを貸与する。

7.3. 設置場所

看板の設置場所等については、施設管理者と協議を行い、承認を得た場所に設置すること。

8. 給水ポンプユニット

災害時下水直結式仮設トイレ用下水道管整備工事において、給水ポンプユニットを備える場合の仕様については、以下のとおりとする。

8.1. 納入

納品数は1拠点につき1式とする。各拠点におけるポンプユニットのタイプおよび送水ホースの本数は、設計書の通りとする。

8.2. ポンプユニット仕様

- (1) 小学生から高齢者までが容易に理解できるような、カラー写真を用いた簡易取り扱い説明書を 1 台に対し 1 枚添付すること。
- (2) 納入後1年は製品の保証期間とし、これを証した保証書を添付すること。
- (3) 納入時に試運転を行い、動作確認をすること。

8.3. 地上プール対応型ポンプユニット

地上プール対応型給水ポンプユニットを備える場合の仕様は、以下の通りとする。

- (1) ステンレス製の電動ポンプと手押しポンプを備えること。

- (2) 電動ポンプはインバーター制御による自動運転とする。
- (3) 電動ポンプの電力源となる自家発電機を備えること。
- (4) 電動ポンプは吐出量 20 リットル／分以上の能力を有すること。
- (5) 自家発電機はポンプと一緒に台車に積載できる構造とすること。
- (6) 自家発電機の燃料は寒冷地仕様のカセットボンベとすること。また、定格負荷で運転時間 10 時間以上確保できるように予備のカセットボンベを備えること。
- (7) 自家発電機用のエンジンオイル 1000ml を備えること。
- (8) 手押しポンプは 1 ストロークで 300 ミリリットル以上の揚水量があること。
- (9) ポンプ、その他付属品(ホース除く)は持ち運びが容易に行えるように持ち手部分を備えた台車に一体として乗せること。工具類は、紛失防止のために、麻袋等に入れること。
- (10) ポンプ、自家発電機、その他付属品(ホース除く)を一体として収納するための透明ビニール製カバーを備えること。カバーには「災害時下水直結式仮設トイレ用給水ポンプ」と印字すること。
- (11) 台車の車輪にはストッパーを備えること。
- (12) 水源からポンプまでの取水用ホースは 5m とする。
- (13) 取水用ホースは、呼径 25mm 以上で、耐圧性に優れる素材であり、簡単に形状変化しないものとする。
- (14) 送水用ホースは 20m/本とし、ジョイント等で接続できる構造を有していること。
- (15) 送水用ホースは、呼径 25mm 以上で、以下の仕様を満たすものとする。

ポンプの停止圧(締切り圧力)、水源からマンホールまでの高低差を考慮し、耐圧を 0.5MPa 以上とすること。

構造は、以下の材質と同等以上の機能を有するものとする。

(芯材:硬質 PVC チューブ材:軟質 PVC 補強糸:ポリエステル)
- (16) 送水用ホースのうち1本は、吐出口に開閉バルブを備えつけること。
- (17) 送水用ホースは設計書に記載する本数とする。
- (18) 寸法、重量については、以下の通りとする。
 - ・ 給水ポンプ、その他付属品(ホース除く)を含めた台車部
W800mm×D800mm×H1200mm以下、60kg以下
 - ・ 発電機
W400mm×D400mm×H600mm以下、25kg以下

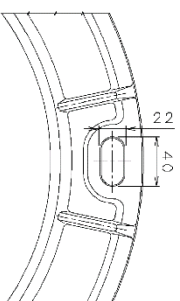
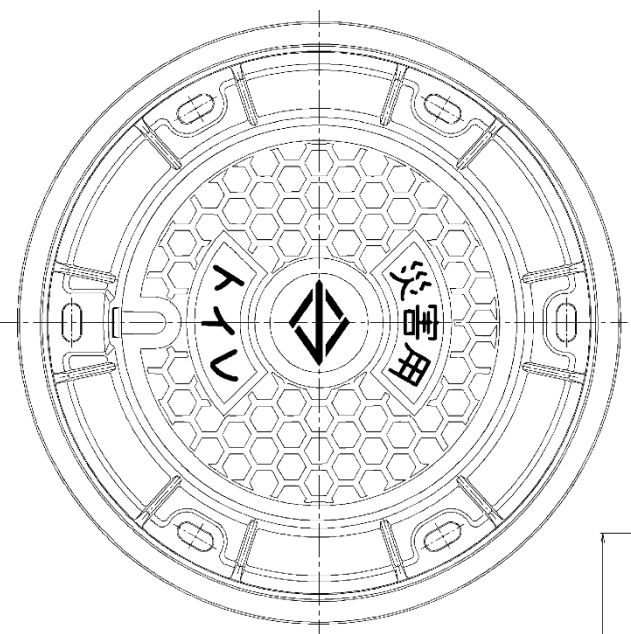
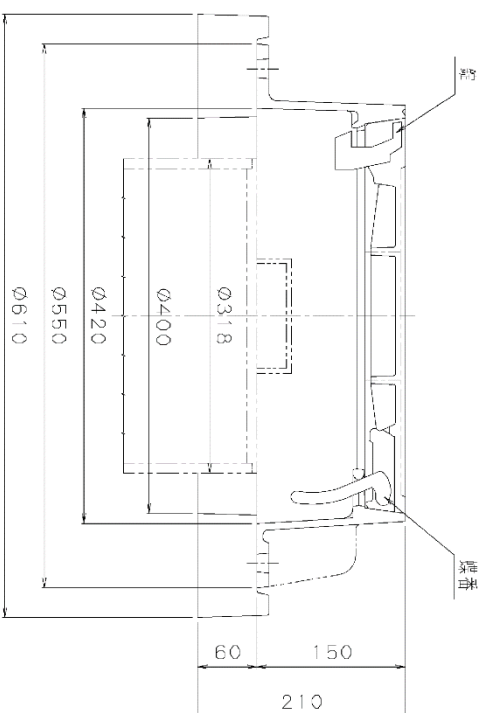
8.4. 屋上プール対応型ポンプユニット

屋上プール対応型給水ポンプユニットを備える場合の仕様は、以下の通りとする。

- (1) 手押しポンプ部材はステンレス製であること。
- (2) 手押しポンプは 1 ストロークで 1 リットル以上の揚水量があること。
- (3) ポンプ、その他付属品(ホース除く)は、階段での持ち運びが容易に行えるように取っ手等を有した台車に一体として乗せること。
- (4) ポンプ、その他付属品(ホース除く)を一体として収納するための透明ビニール製カバーを備えること。カバーには「災害時下水直結式仮設トイレ用給水ポンプ」と印字すること。
- (5) 水源からポンプまでの取水用ホースは 5m とする。

- (6) 取水用ホースは、呼径 32mm以上で、耐圧性に優れる素材であり、簡単に形状変化しないものとする。
- (7) 送水用ホースは、20m/本とし、ジョイント等で接続できる構造を有していること。
- (8) 送水用ホースは、呼径 32mm以上で、以下の仕様を満たすものとする。
 - ・ 水源からマンホールまでの高低差を考慮し耐圧を 0.5Mpa 以上とする。
 - ・ 構造は、以下の材質と同等以上の機能を有するものとする。
(芯材:硬質 PVC チューブ材:軟質 PVC 補強糸:ポリエステル)
- (9) 送水用ホースのうち1本は、吐出口に開閉バルブを備えつけること。
- (10) 送水用ホースは設計書に記載する本数とする。
- (11) 寸法、重量については、以下の通りとする。
 - ・ 給水ポンプ、その他付属品(ホース除く)を含めた台車部
W900mm×D900mm×H1200mm以下、50kg 以下

別紙 鑄鉄防護ふた構造図
(災害トイレ仕様)

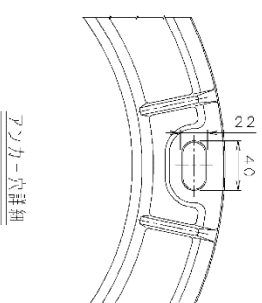
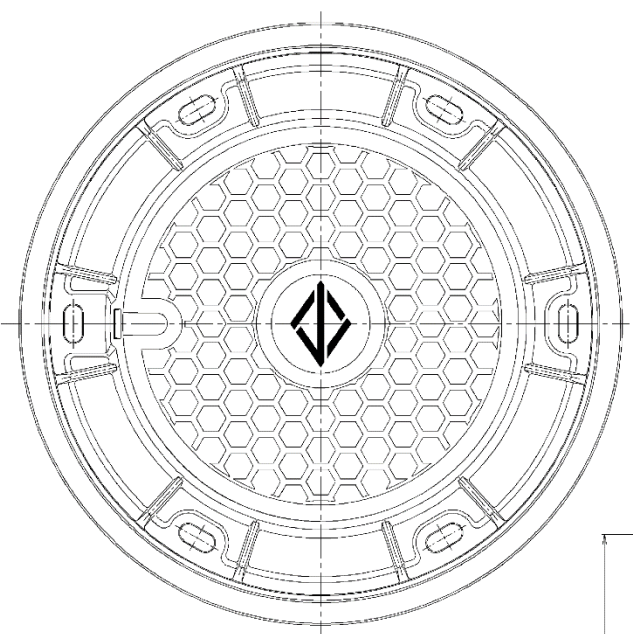
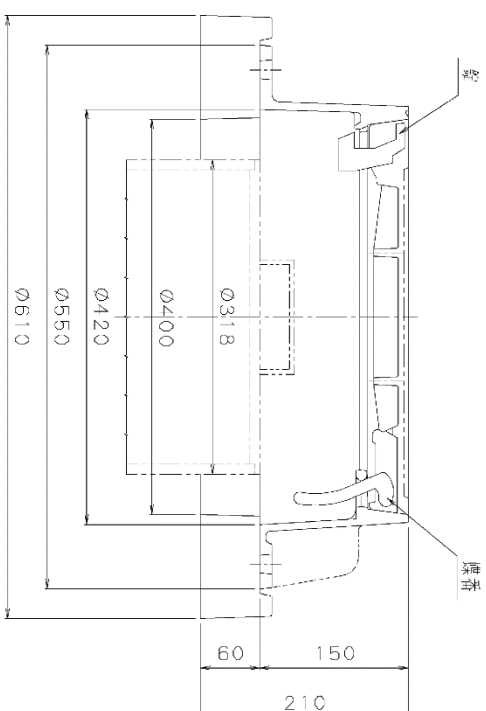


フタカ 点検口

特記事項

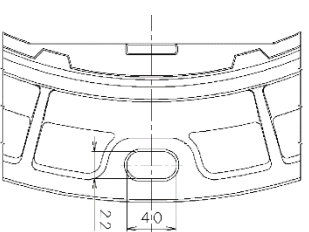
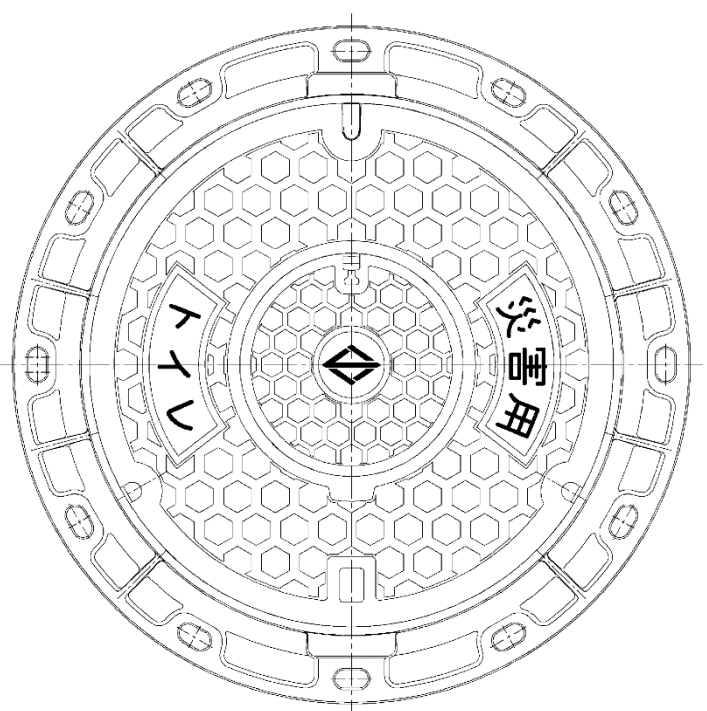
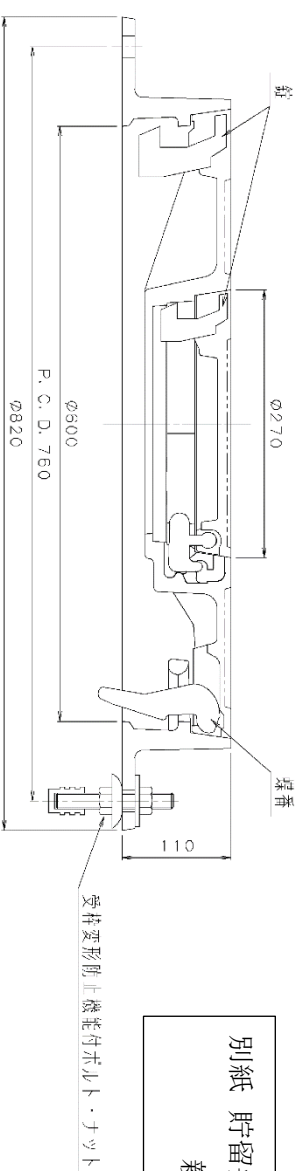
仮設トイレ設置箇所用鑄鉄防護ふた
($\phi 300\text{mm}$)

別紙 鋳鉄防護ふた構造図
(災害トイレ仕様 文字なし)

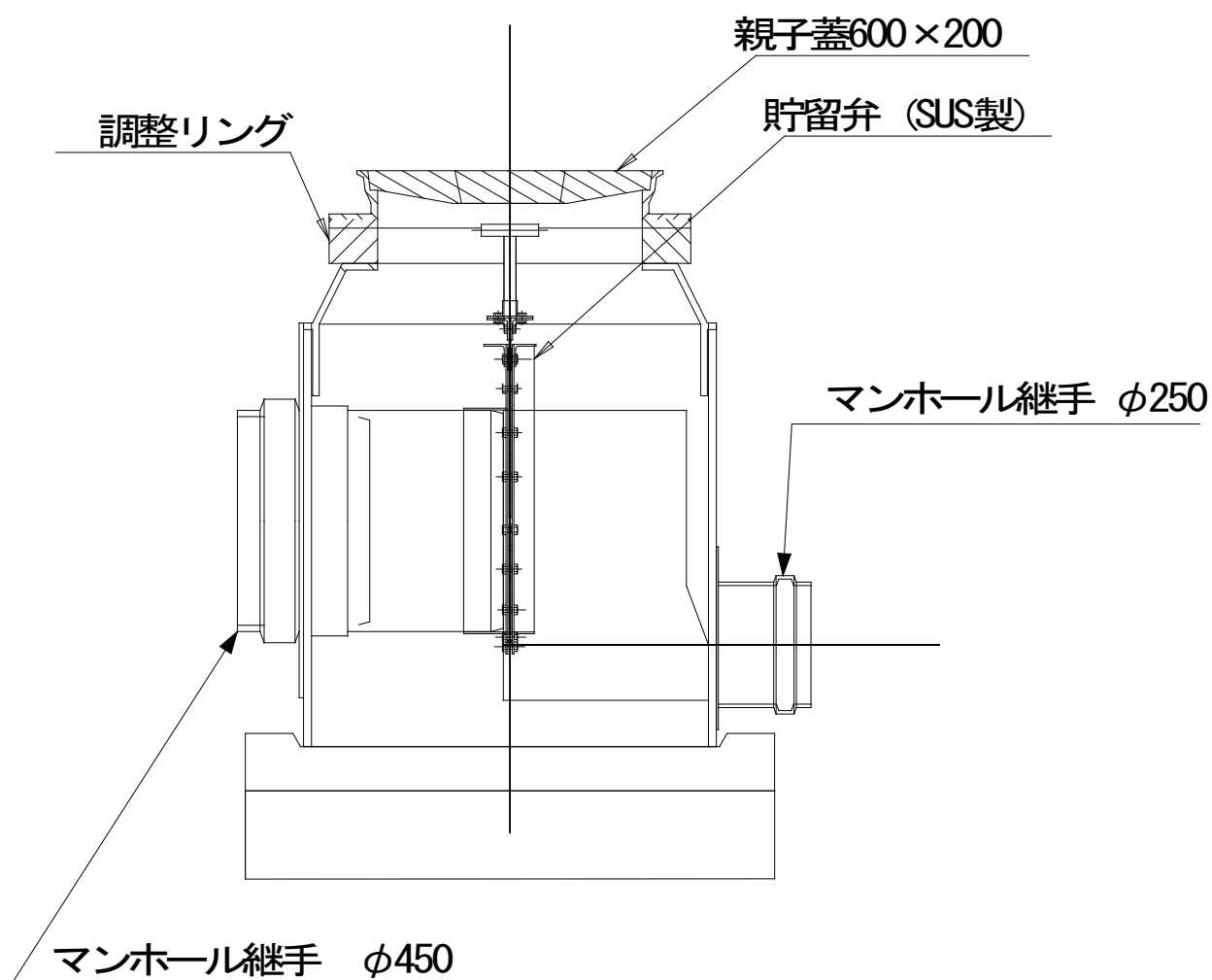


特記事項

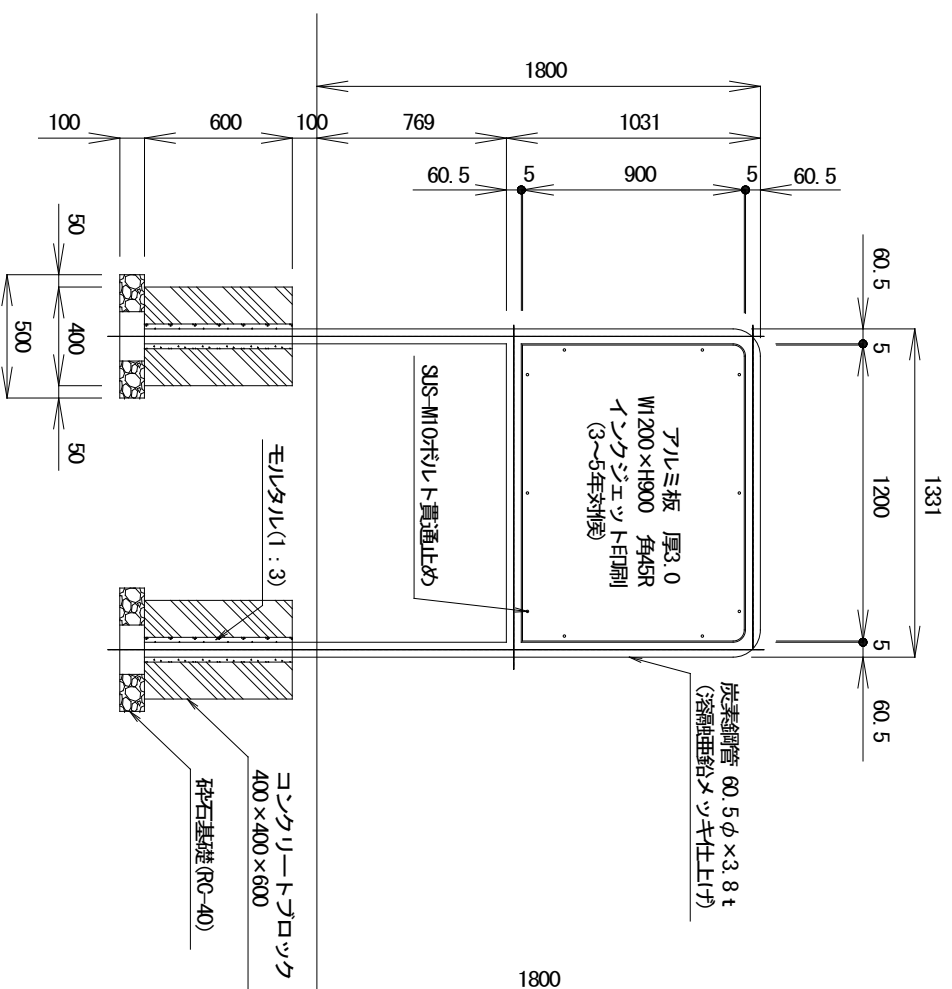
下流小型アソホール用鋳鉄防護ふた
($\phi 300\text{mm}$)



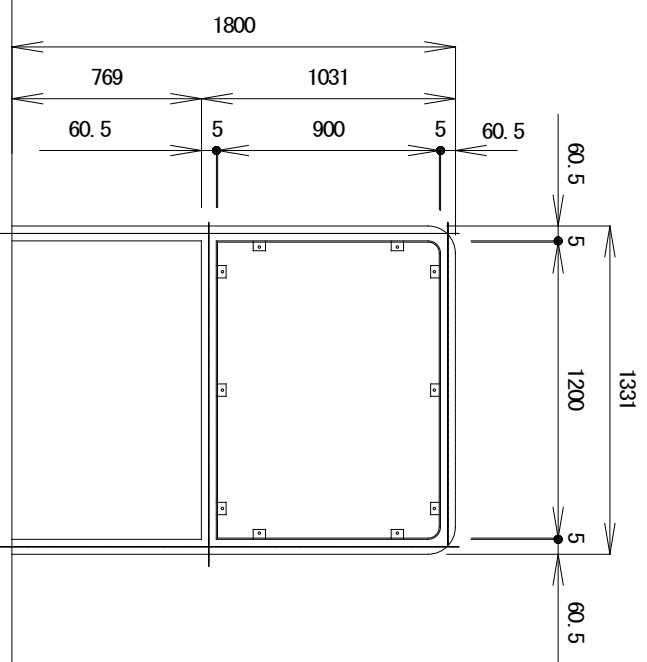
特記事項	マンホール 鋳鉄親子ふた (φ600mm×φ200mm)
------	---------------------------------



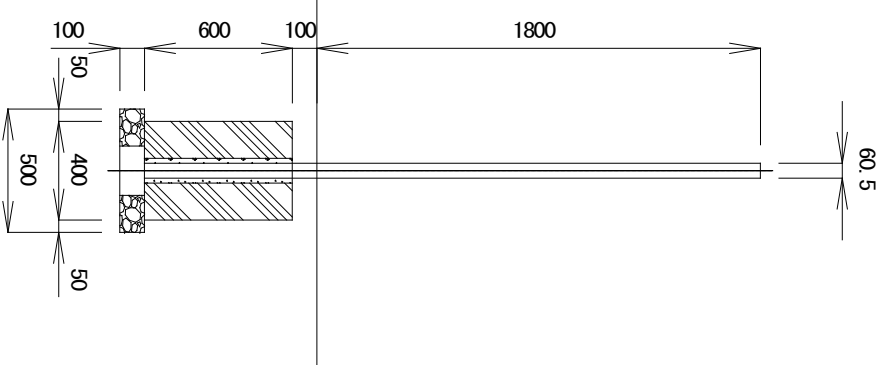
正面図

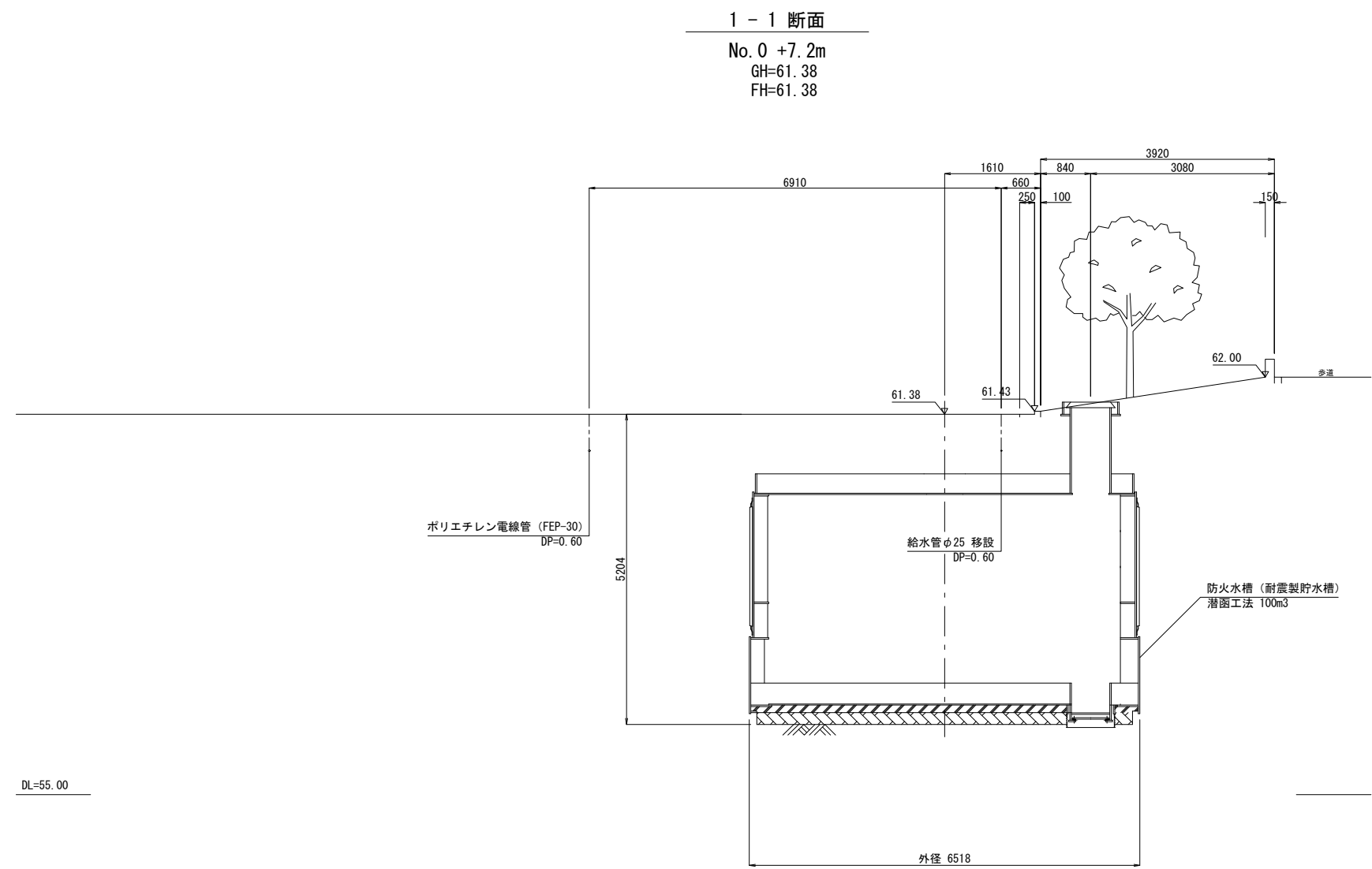


背面図



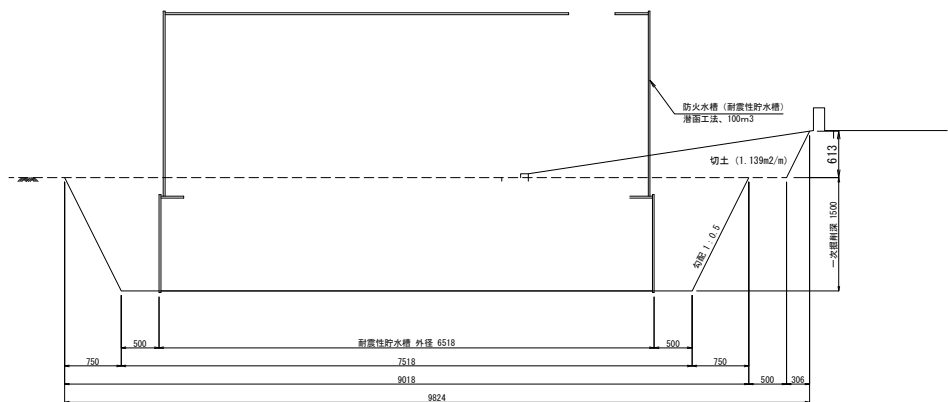
側面図



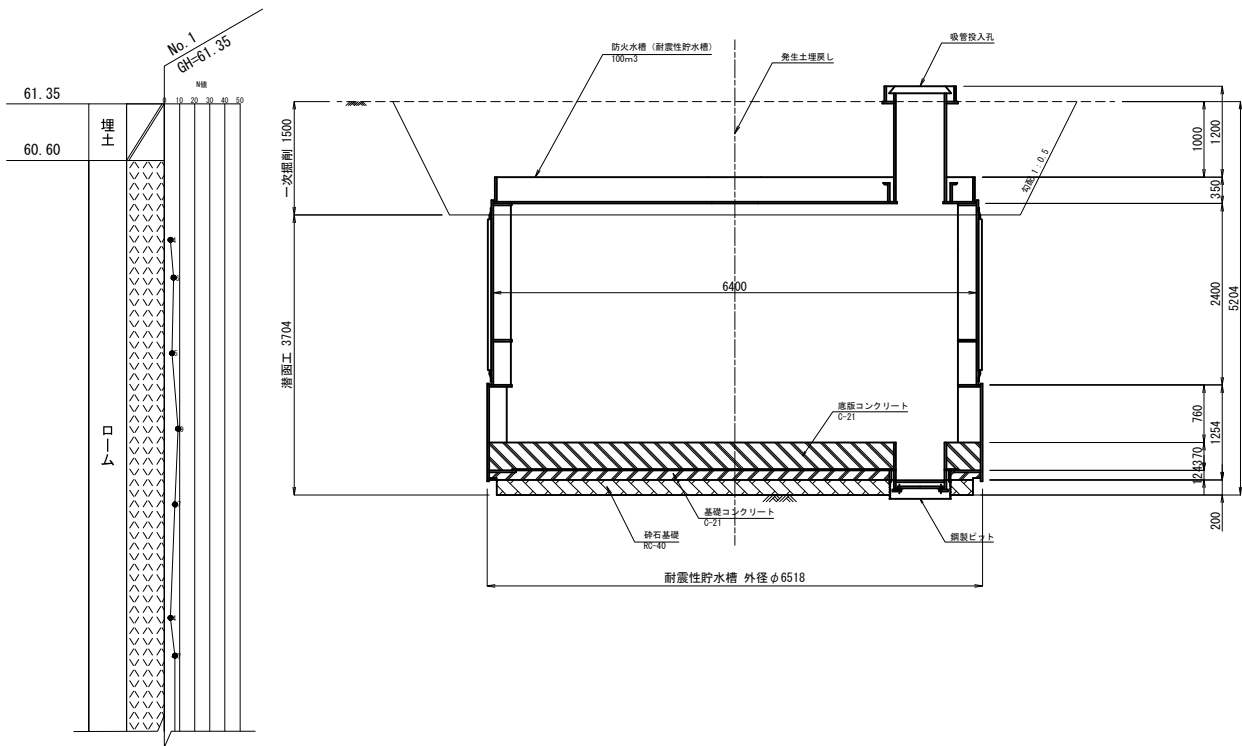


工 事 名			
履行場所			
図 面 名	横 断 図		
縮 尺	1 : 100 (A3)	図面番号	3 / 15
設計年月	令和 5 年 3 月		
横 浜 市 建 築 局 公 共 建 築 部 施 設 整 備 課			

一次掘削時土工形状



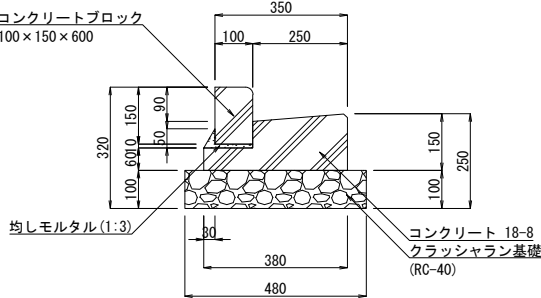
潜函完了時土工形状



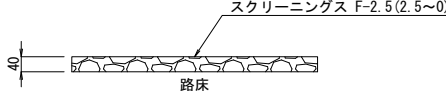
工 事 名			
履行場所			
図 面 名	断 面 図		
縮 尺	1 : 100 (A3)	図面番号	4 / 15
設計年月	令和 5年 3月		
横 浜 市 建 築 局 公 共 建 築 部 施 設 整 備 課			

付 帯 工 図 (2) 縮 尺 : 図 示

L 型側溝 (LS-25・LS-25R) 縮尺 1 : 20 (A3)

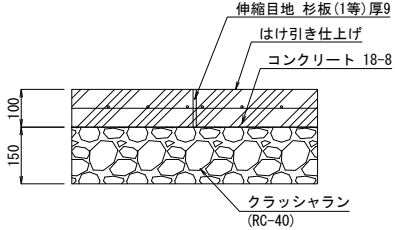


ダスト舗装(DH) 縮尺 1 : 20 (A3)



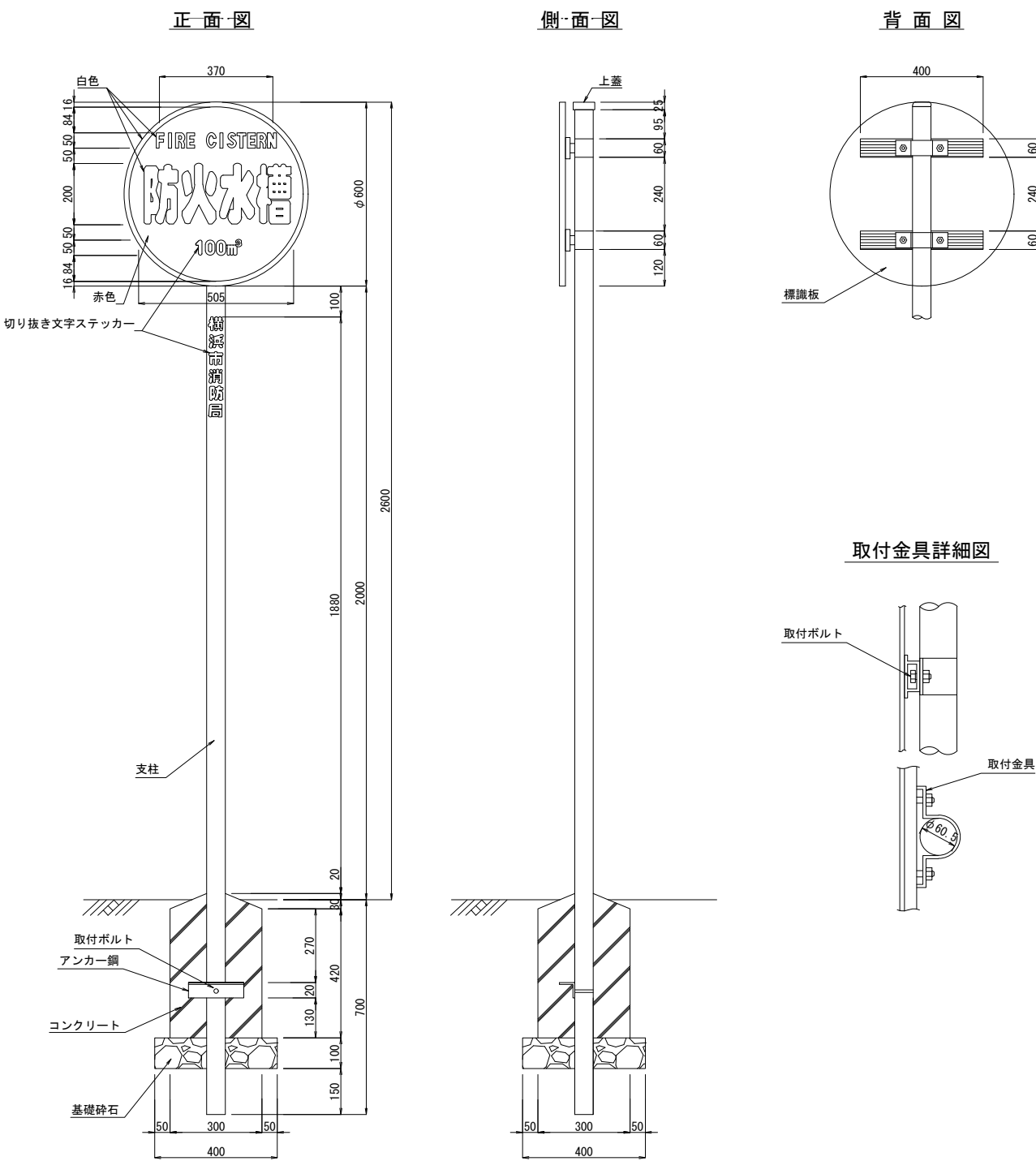
ダスト舗装			100m ² 当り
名 称	規 格	単位	数 量
			DH
スクリーニングス	2.5~0	m ³	4.0

コンクリート舗装 (CH-B) 縮尺 1 : 20 (A3)



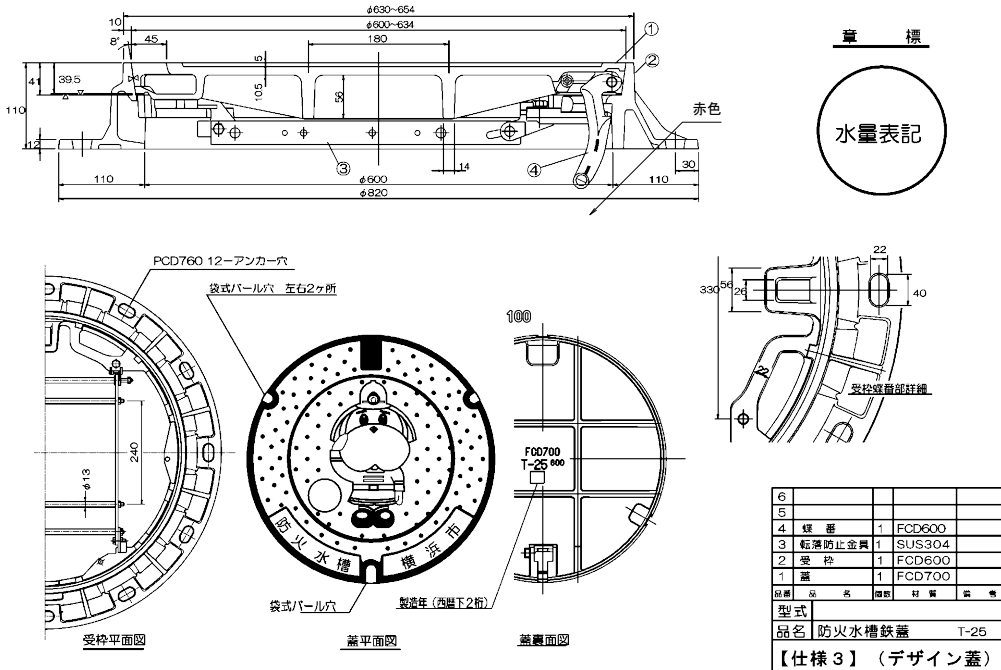
工 事 名			
履行場所			
図 面 名	付 帯 工 図 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 15
設計年月	令和 5年 3月		
横 浜 市 建 築 局 公 共 建 築 部 施 設 整 備 課			

防火水槽標識 縮尺 1 : 20 (A3)



注1) 標識の色彩は、文字及び緑を白色、わくを赤色、地を青色とし、原則として反射塗料を用いること。
注2) 取付金具は、ナットを緩めることにより、標識の左右の位置を調整できるものであること。

防火水槽鉄蓋詳細図 縮尺 : non
【仕様3】デザイン蓋

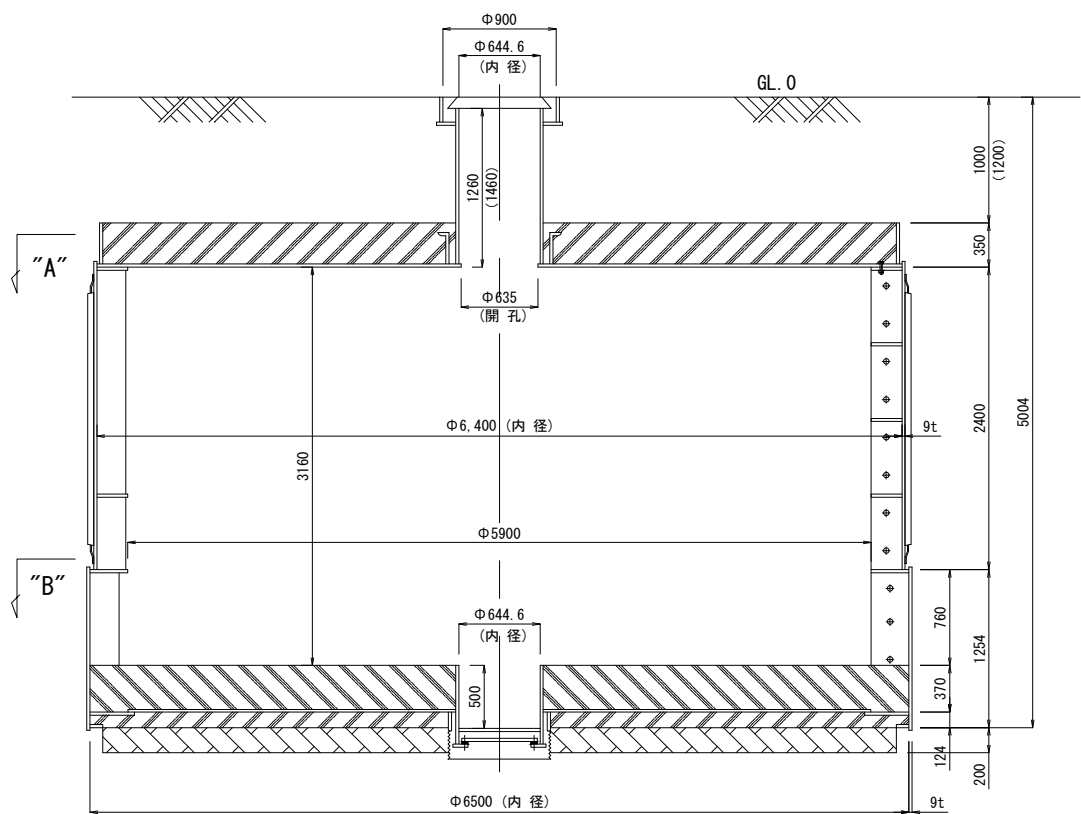


6				
5				
4	標 識	1	FCD600	
3	転落防止金具	1	SUS304	
2	電 色	1	FCD600	
1	蓋	1	FCD700	
仕様 品 名 数量 材質 単位				
型式				
品名 防火水槽鉄蓋 T-25				
【仕様3】（デザイン蓋）				

工 事 名	
履行場所	
図 面 名	付 帯 工 図 (3)
縮 尺	図 示
図面番号	7 / 15
設計年月	令和 5年 3月
横 浜 市 建 築 局 公 共 建 築 部 施 設 整 備 課	

耐震性貯水槽構造図(1) (参考図) 縮尺 1 : 60 (A3)
(完成図)

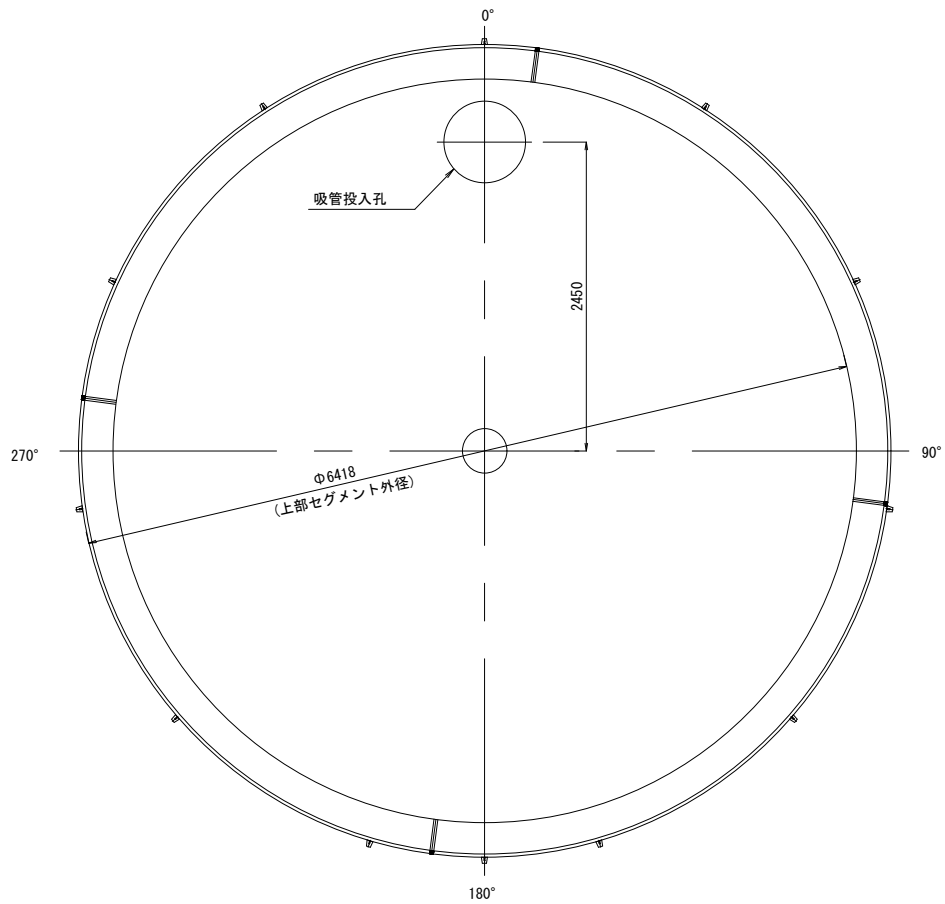
断面図



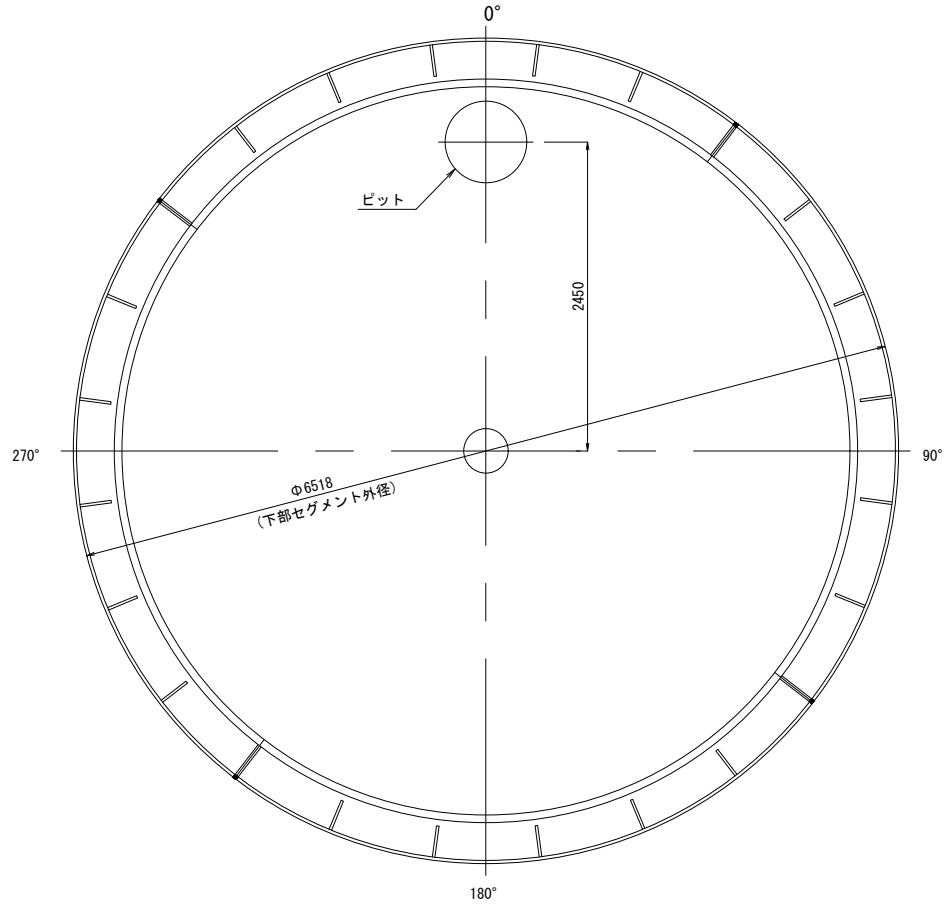
容 積 表		
項 目	サイズ (内径 x 高さ)	容積 (m³)
上部セグメント	φ6400 x 2400	77.21
下部セグメント	φ6500 x 760	25.22
内 部 部 材		△ 0.66
容積総合計		101.77 m³

仕 上 表		
名 称	材 質	厚
内 部 塗 装	ノントールエポキシ樹脂系	200 μ
外 部 塗 装	ハイソリッド変性エポキシ系重防食塗料	200 μ
床 仕 上 げ	金ゴテ仕上げ	
内部取合部	コーキング(硬質シリコン樹脂系)	

“A” 断面



“B” 断面



※耐震性貯水槽は「耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル」による「Ⅱ型（総重量200kNの自動車荷重が積載されるもの）」とする。
※一般財団法人 日本消防設備安全センター認定品とする。

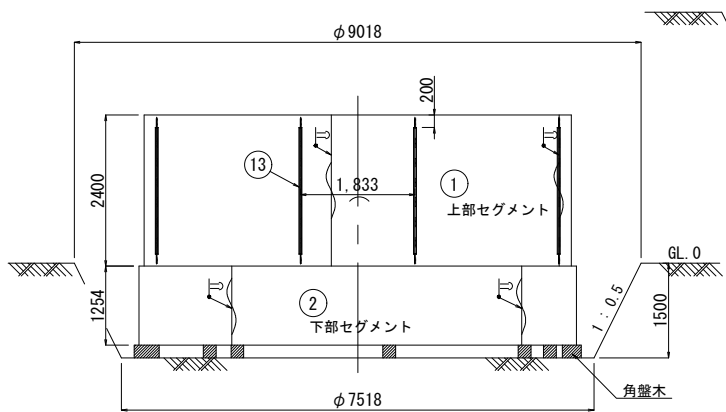
工 事 名			
履行場所			
図 面 名	耐震性貯水槽構造図(1) (参考図)		
縮 尺	1 : 60 (A3)	図面番号	8 / 15
設計年月	令和 5年 3月		
横 浜 市 建 築 局 公 共 建 築 部 施 設 整 備 課			

※ () は吸管投入孔部の寸法

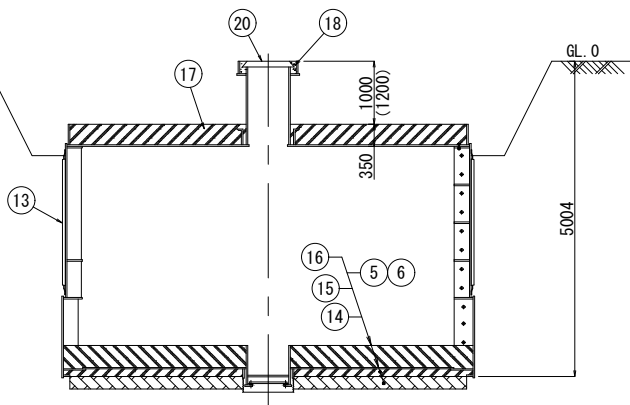
耐震性貯水槽構造図(2)(参考図) 縮尺 1 : 120 (A3)
(組立施工図)

セグメント組立立面図

※角盤木は下部セグメント水平レベル調整用に用いる。

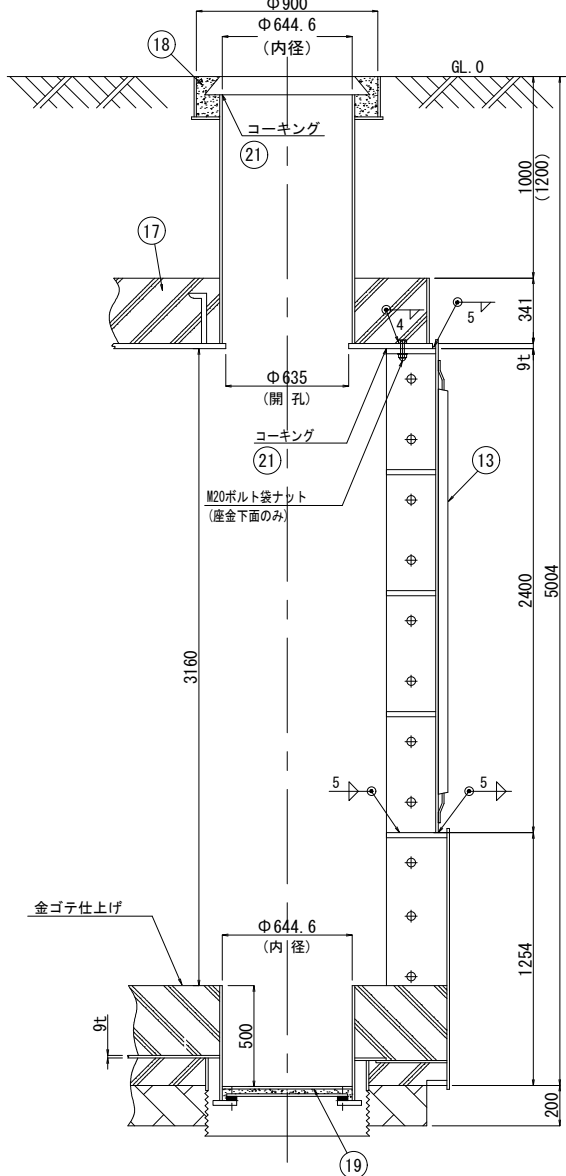


断面図



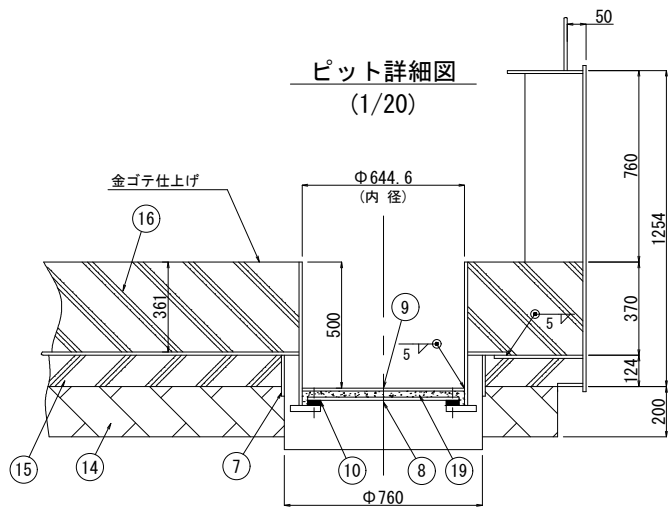
“A”断面詳細図

(1/25)



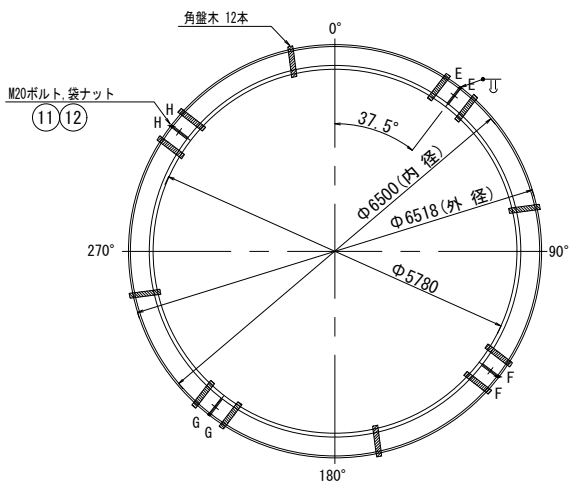
ピット詳細図

(1/20)

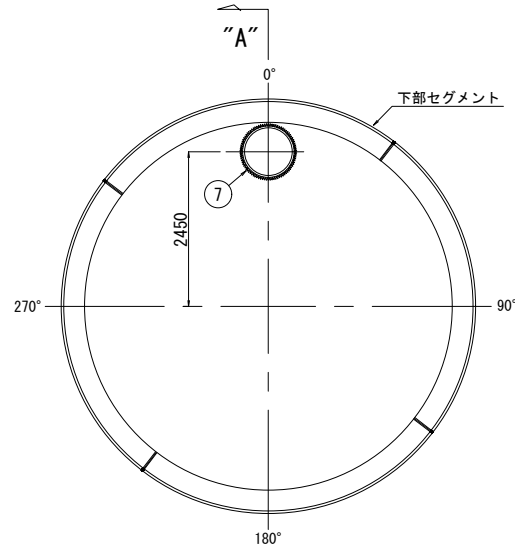


②下部セグメント組立平面図

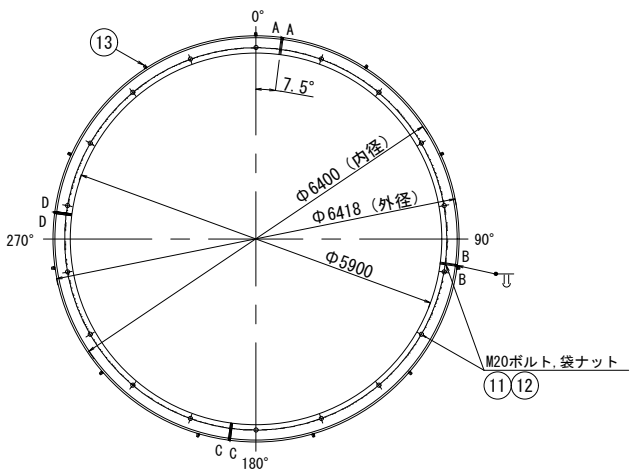
※角盤木は下部セグメント水平レベル調整用に用いる。



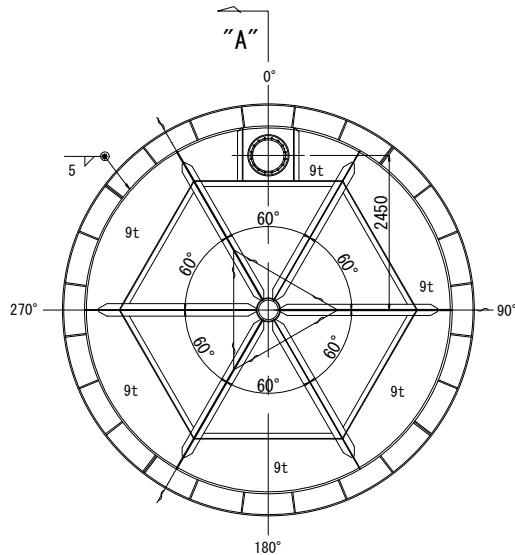
⑦栗石止め据付平面図



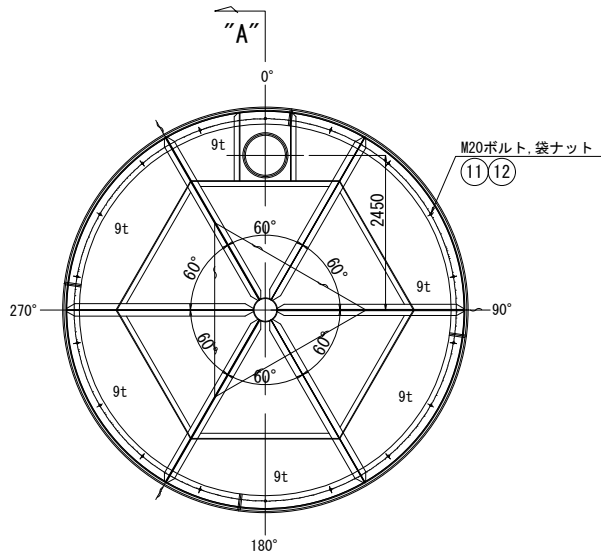
①上部セグメント組立平面図



⑤⑥底版組立平面図



③④頂版組立平面図



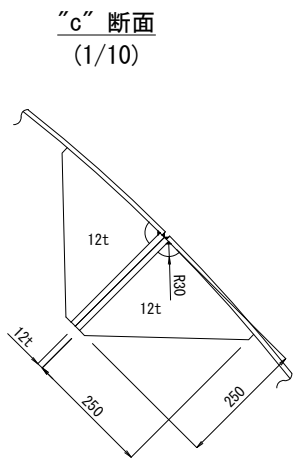
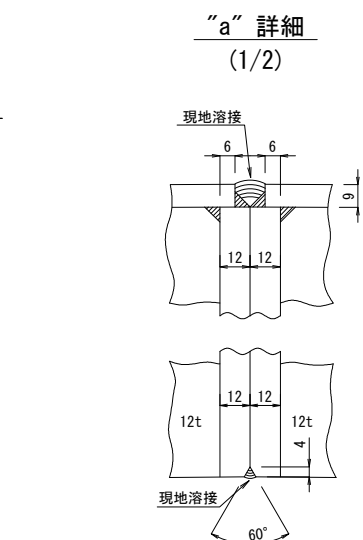
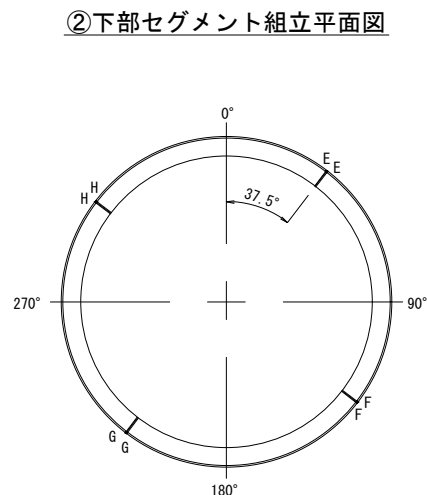
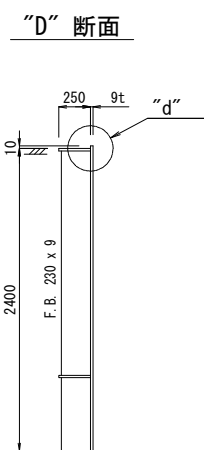
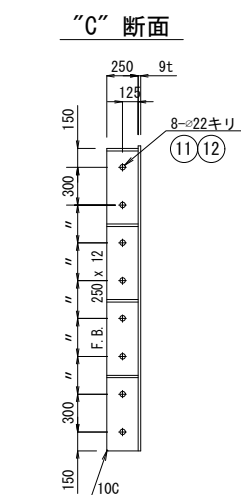
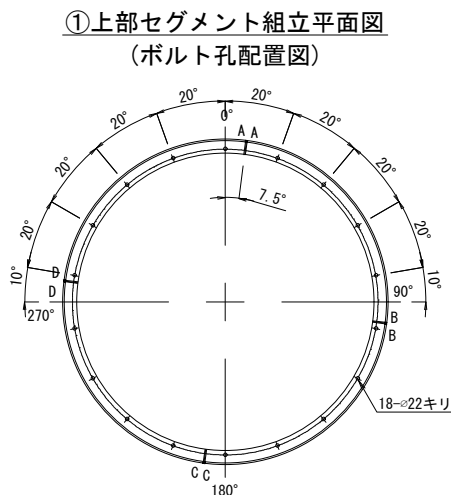
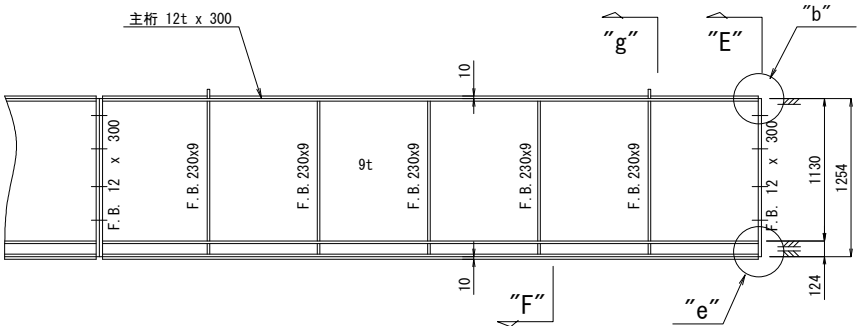
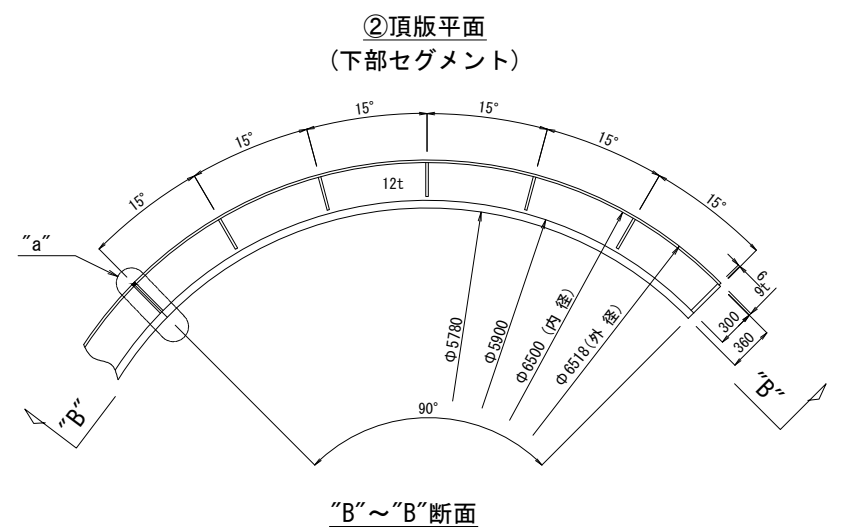
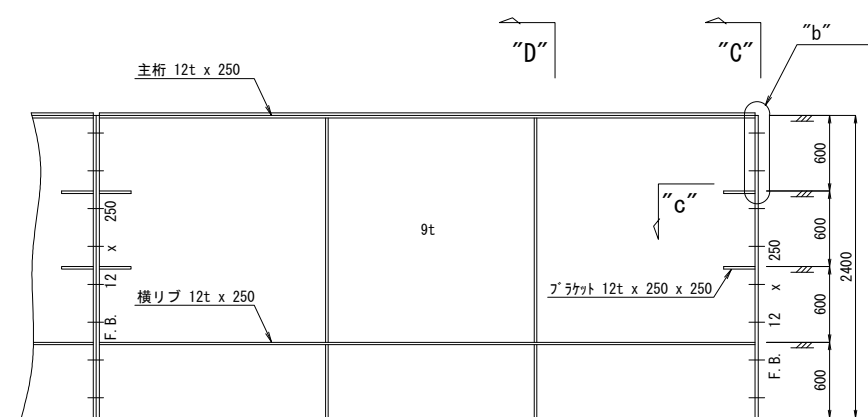
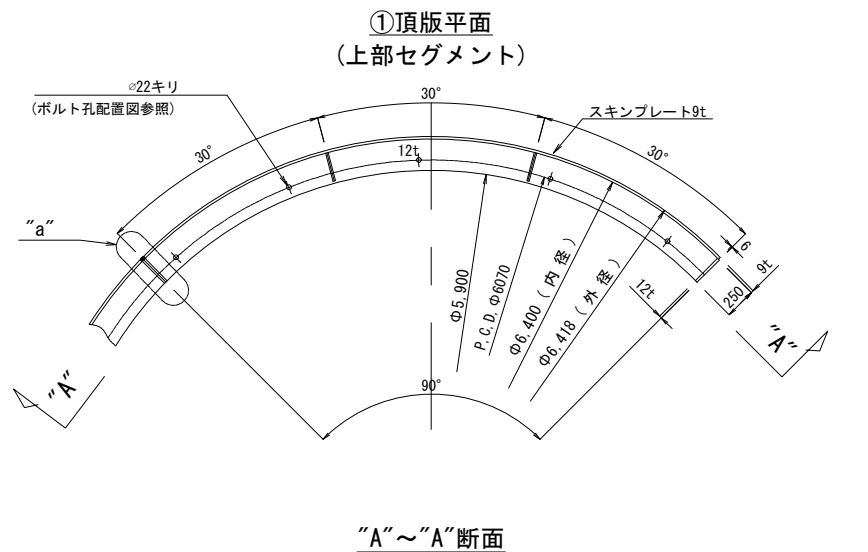
総重量 (kg)					16908.8
②②	支柱	SS400	1	388.8	388.8
②①	コーキング	—	30.3		硬質シリコン樹脂系
②①	防火水槽鉄蓋	F.C.D.	1		
②①	防水モルタル等	—	0.02		ビット
②①	コンクリート	21-8-25B8	0.06		吸管投入孔
②①	コンクリート	21-8-25B8	10.52		頂版
②①	コンクリート	21-8-25B8	11.82		底版
②①	コンクリート	21-8-25B8	4.05		均し
②①	基礎砕石	RC-40	6.05		
②①	電気防食用マグネシウム陽極棒	—	11	7.7	84.7
②①	M20平座金	SS400	114	0.02	2.3 垂鉛メッキ
②①	M20x50Lボルト、袋ナット	SS400	48	0.3	14.4 垂鉛メッキ
②①	M20x45Lボルト、袋ナット	SS400	18	0.3	5.4 垂鉛メッキ
②①	M20x40Lボルト、袋ナット	SS400	24	0.3	7.2 垂鉛メッキ
②①	ビット用バッキン	天然ゴム	1		
②①	ビット用塞ぎ板	SS400	1	22.9	22.9 上蓋
②①	ビット用塞ぎ板	SS400	1	24.9	24.9 下蓋
②①	栗石止め	SS400	1	16.5	16.5
②①	底版	SS400	2	1056.2	2112.4
②①	底版 (ビット付)	SS400	1	1162.7	1162.7
②①	頂版	SS400	2	1249.7	2499.4
②①	頂版 (吸管投入孔付)	SS400	1	1512.4	1512.4
②①	下部セグメント	SS400	4	979.7	3918.8
②①	上部セグメント	SS400	4	1283.5	5134.0
符号	名称	材質	数量	単重	重量 備考

工事名	
履行場所	
図面名	耐震性貯水槽構造図(2)(参考図)
縮尺	1 : 120 (A3)
図面番号	9 / 15
設計年月	令和 5年 3月
横浜市 建築局 公共 建築部 施設整備課	

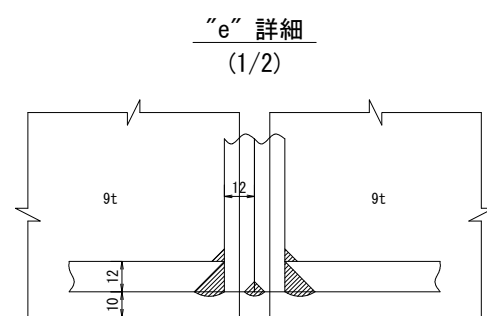
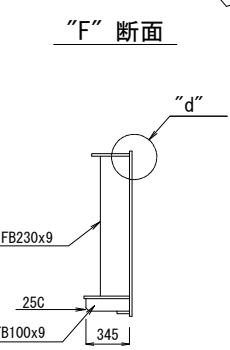
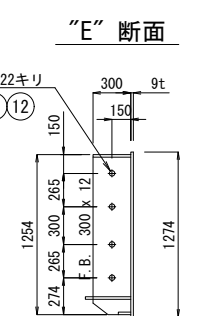
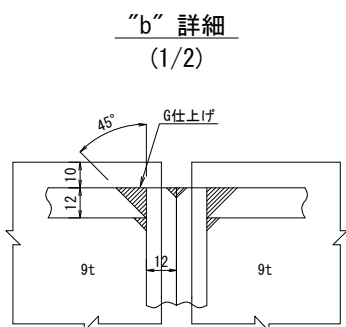
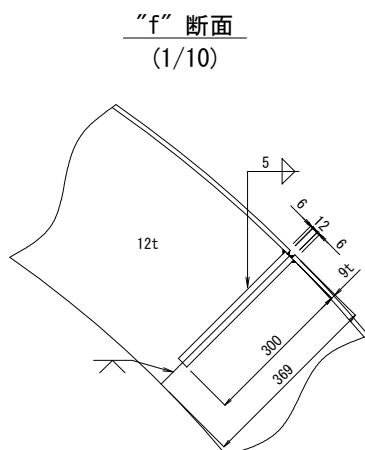
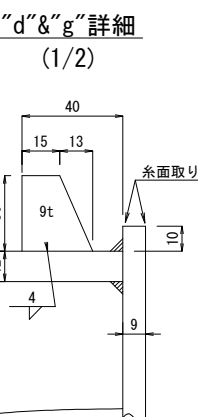
※ () は吸管投入孔部の寸法

耐震性貯水槽構造図(3)(参考図) 縮尺 1 : 60(A3)

(側版詳細図)



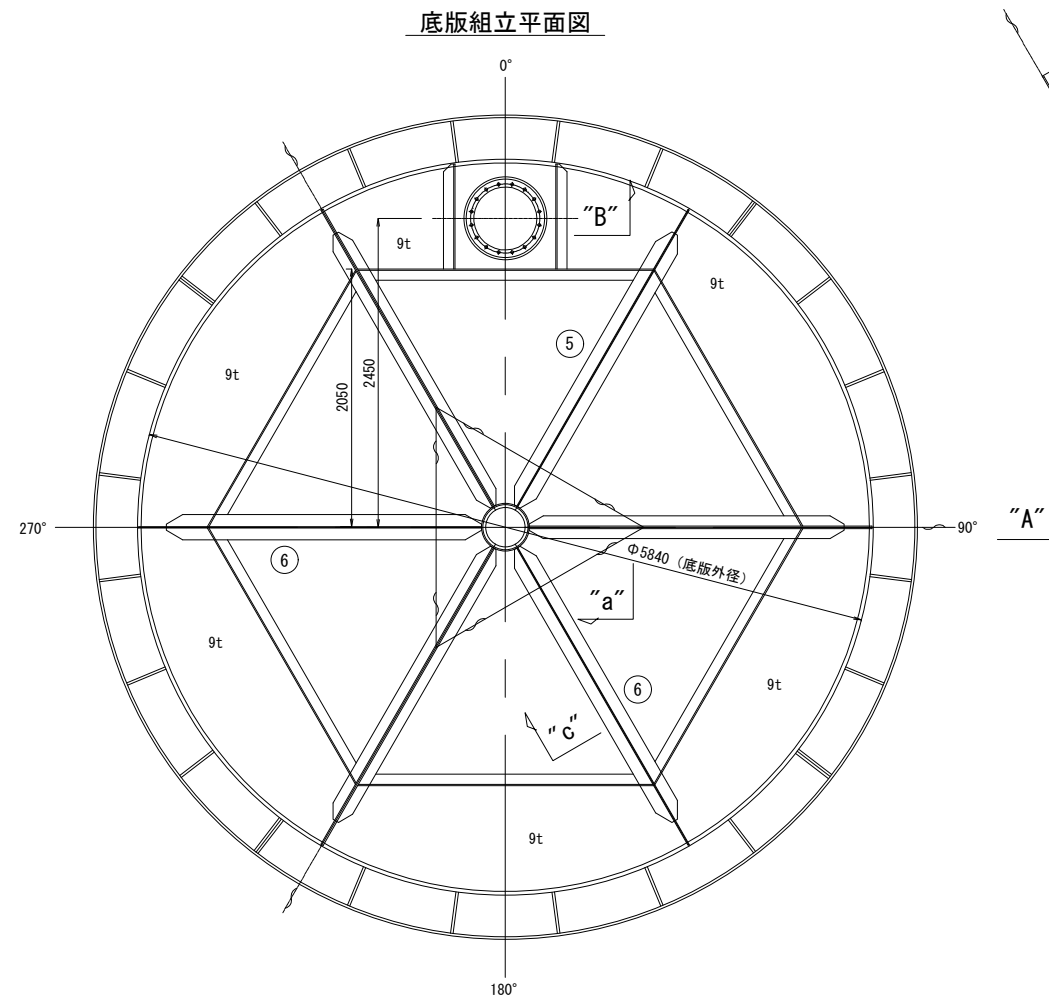
注:~
1.) 溶接は特記の外脚長4%。
両面連続すみ肉溶接とする。
2.) ①②セグメントは4組分を示す。
3.) 0°マーキング及び栗石止めセット用
マーキングを行うこと。



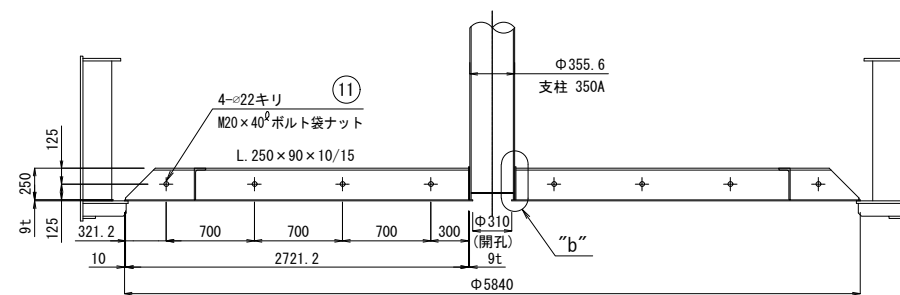
					総重量 (kg)		9069.1
(12)	平座金	M20	SS400	96	0.02	1.9	
	重量の合計 (kg)			1	1.9	1.9	
(11)	ボルト、ナット	M20x50L	SS400	48	0.3	14.4	
	重量の合計 (kg)			1	14.4	14.4	
(2)	ピース	PL-9x30x28	SS400	2	0.1	0.2	
	ブラケット	FB-9x100x345	SS400	5	2.4	12.0	
	縦リブ	FB-9x230x1118	SS400	5	18.2	91.0	
	底桁	PL-12x100x φ6500/4	SS400	1	47.1	47.1	
	横リブ	PL-12x360x φ6500/4	SS400	1	162.7	162.7	
	主桁	PL-12x300x φ6500/4	SS400	1	136.9	136.9	
	継手板	FB-12x300x1254	SS400	2	35.4	70.8	
	側板	PL-9x1274x5100	SS400	1	459.0	459.0	
	重量の合計 (kg)			4	979.7	3918.8	
	(1)	縦リブ	FB-9x230x588	SS400	2	9.6	19.2
縦リブ		FB-9x230x1788	SS400	2	29.1	58.2	
ブラケット		PL-12x250x250	SS400	4	2.9	11.6	
横リブ・主桁		PL-12x250x φ6400/4	SS400	2	113.2	226.4	
継手板		FB-12x250x2400	SS400	2	56.5	113.0	
側板		PL-9x2410x5022	SS400	1	855.1	855.1	
重量の合計 (kg)			4	1283.5	5134.0		
符号	名称	サイズ	材質	数量	単重	重量	備考

工事名	
履行場所	
図面名	耐震性貯水槽構造図(3)(参考図)
縮尺	1 : 60(A3)
図面番号	10 / 15
設計年月	令和 5年 3月
横浜市建築局公共建築部施設整備課	

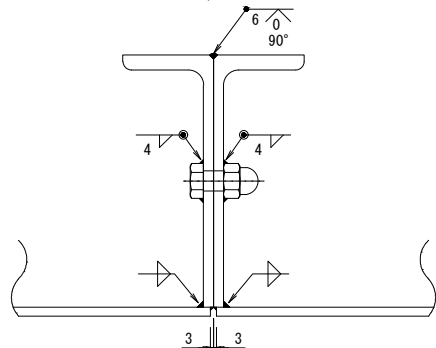
耐震性貯水槽構造図(4)(参考図) 縮尺 1 : 60 (A3)
(底版・集水ピット詳細図)



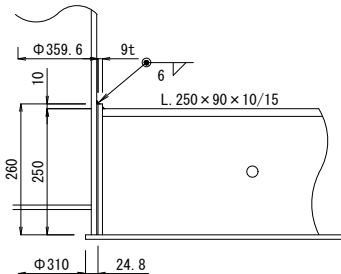
"A" 断面



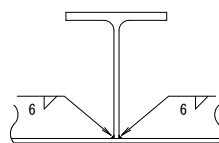
"a" 断面
(1/5)



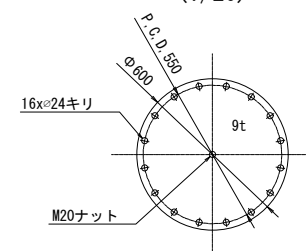
"b" 詳細
(1/10)



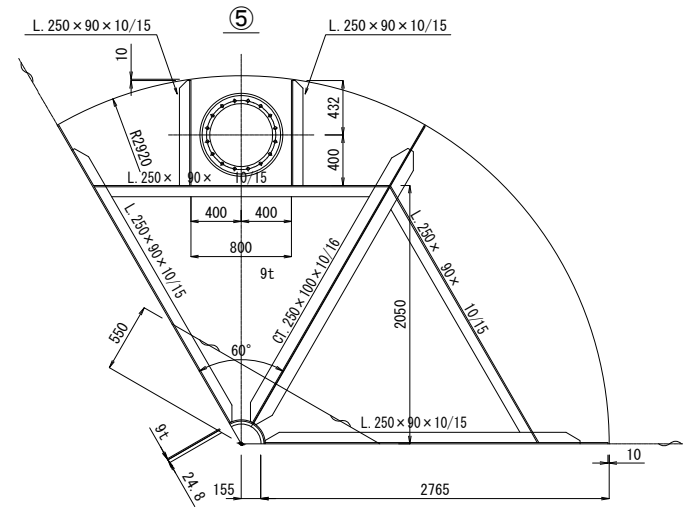
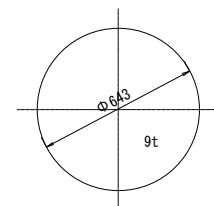
"C" 詳細
(1/10)



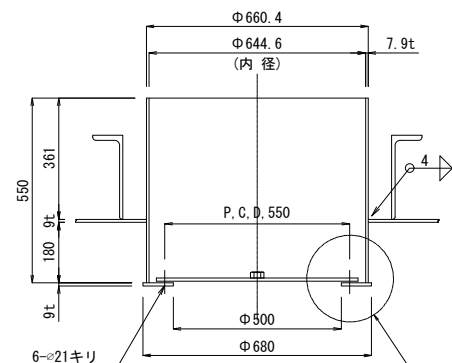
⑧下 蓋
(1/20)



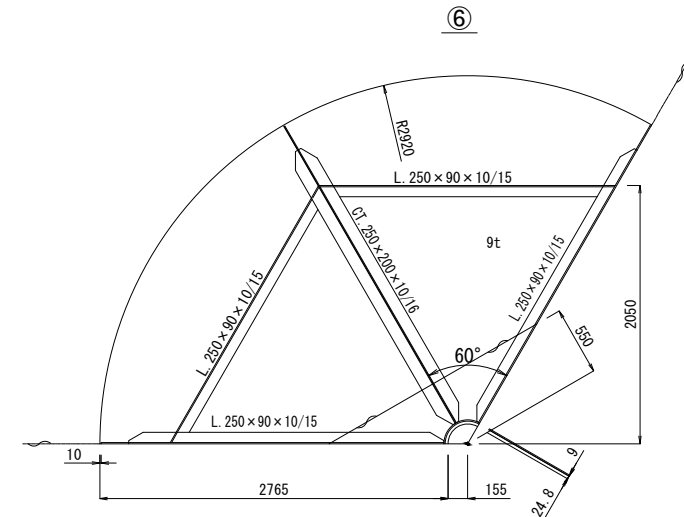
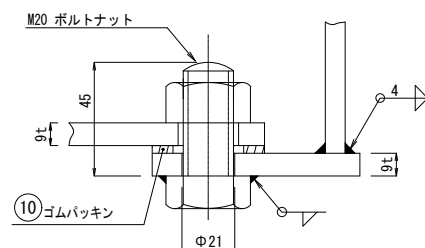
⑨上蓋
(1/20)



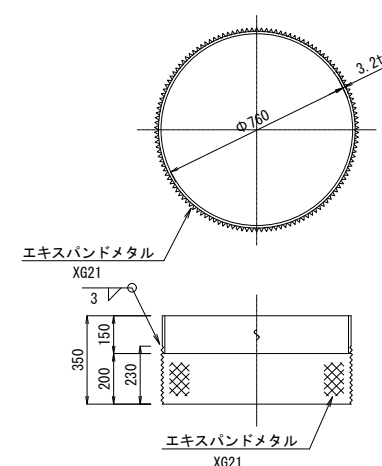
“B”集水ピット詳細
(1/15)



詳細
(1/2)



⑦栗石止め詳細
(1/20)



注:~

1.) 集水ピットの下蓋及び、上蓋は
現地にて取付のこと。

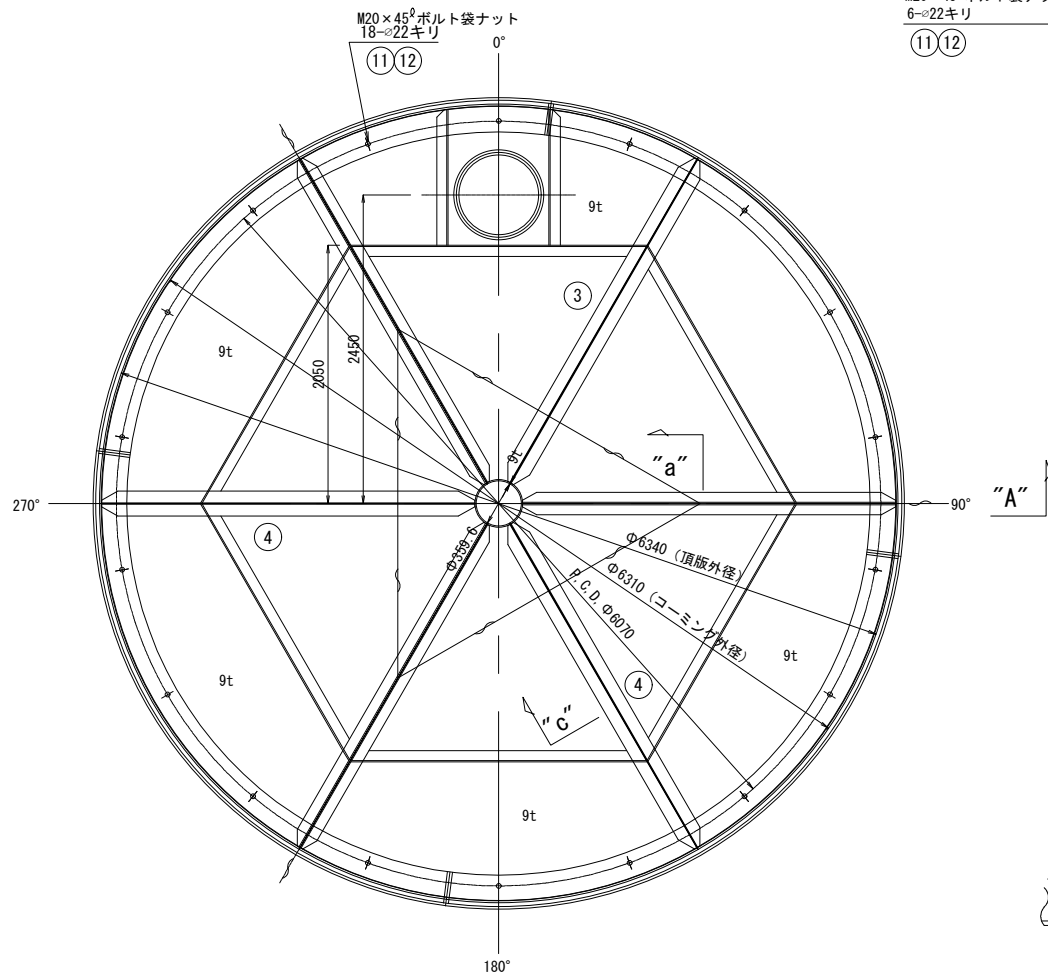
2.) 溶接は特記の外、脚長4 $\frac{7}{8}$ 。
両面連続すみ肉溶接とする。

					総重量 (kg)		3343.0
11	ボルト、ナット	M20x40L	SS400	12	0.3	3.6	
	重量の合計 (kg)			1	3.6	3.6	
10		ゴムパッキン	天然ゴム	1			
9	ビット蓋ぎ板	PL-9x φ 643	SS400	1	22.9	22.9	上蓋
	重量の合計 (kg)			1	22.9	22.9	
8	ナット	M20	SS400	1	0.1	0.1	
	ボルト、ナット	M20x45L	SS400	16	0.3	4.8	
	ビット蓋ぎ板	PL-9x φ 600	SS400	1	20.0	20.0	下蓋
	重量の合計 (kg)			1	24.9	24.9	
7	栗石止め	エキスパンドメタル®21 230 x φ 760	SS400	1	7.5	7.5	
	栗石止め	PL-3. 2x150x φ 760	SS400	1	9.0	9.0	
	重量の合計 (kg)			1	16.5	16.5	
6	ダングプレート	PL-9x φ 359. 6x1/3	SS400	1	7.1	7.1	
	防護材	CT-250x200x10x16x2721	SS400	1	121.9	121.9	
	防護材	L-250x90x10x15x2350	SS400	2	69.1	138.2	
	防護材	L-250x90x10x15x2721	SS400	2	80.0	160.0	
	底板	PL-9x φ 5840x120°	SS400	1	629.0	629.0	
	重量の合計 (kg)			2	1056.2	2112.4	
5	ダングプレート	PL-9x φ 359. 6x1/3	SS400	1	7.1	7.1	
	ビット	PL-9x φ 680-φ 500	SS400	1	11.8	11.8	
	ビット	650Ax7. 9tx550	STPY400	1	69.9	69.9	
	防護材	CT-250x200x10x16x2721	SS400	1	121.9	121.9	
	防護材	L-250x90x10x15x832	SS400	2	24.5	49.0	
	防護材	L-250x90x10x15x2350	SS400	2	69.1	138.2	
	防護材	L-250x90x10x15x2721	SS400	2	80.0	160.0	
	底板	PL-9x φ 5840x120°	SS400	1	604.8	604.8	
重量の合計 (kg)			1	1162.7	1162.7		
符号	名称	サイズ	材質	数量	単重	重量	備考

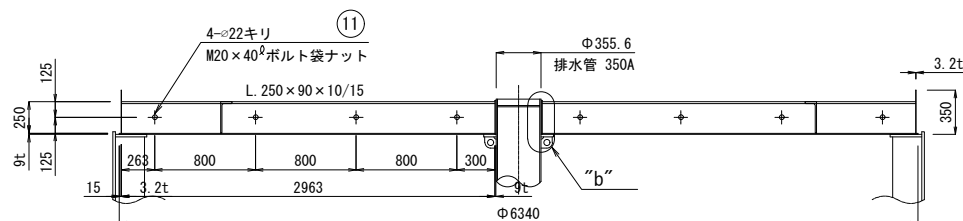
工 事 名			
履行場所			
図 面 名	耐震性貯水槽構造図 (4) (参考図)		
縮 尺	1 : 60 (A3)	図面番号	11 / 15
設計年月	令和 5 年 3 月		
横 浜 市 建 築 局 公 共 建 築 部 施 設 整 備 課			

耐震性貯水槽構造図(5)(参考図) 縮尺 1 : 60 (A3)
(頂版・吸管投入孔詳細図)

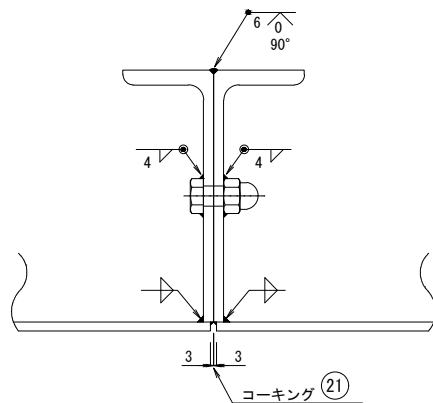
頂版組立平面図



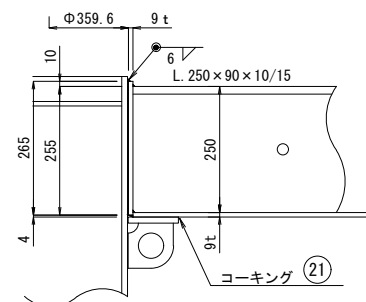
"A" 断面



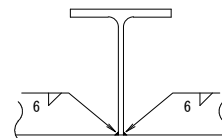
"a" 断面
(1/5)



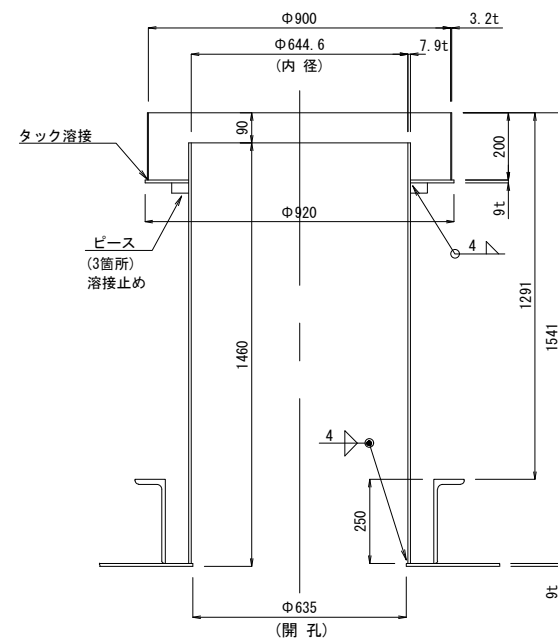
"b" 詳細
(1/10)



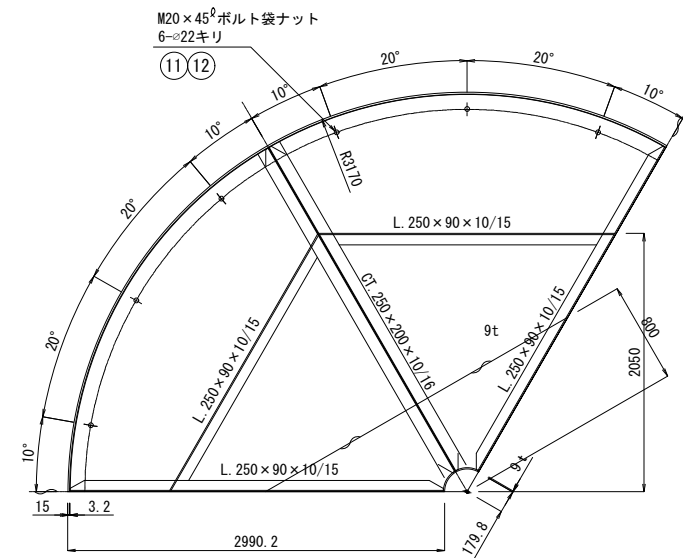
"C" 詳細



吸管投入孔詳細図
(1/15)



④

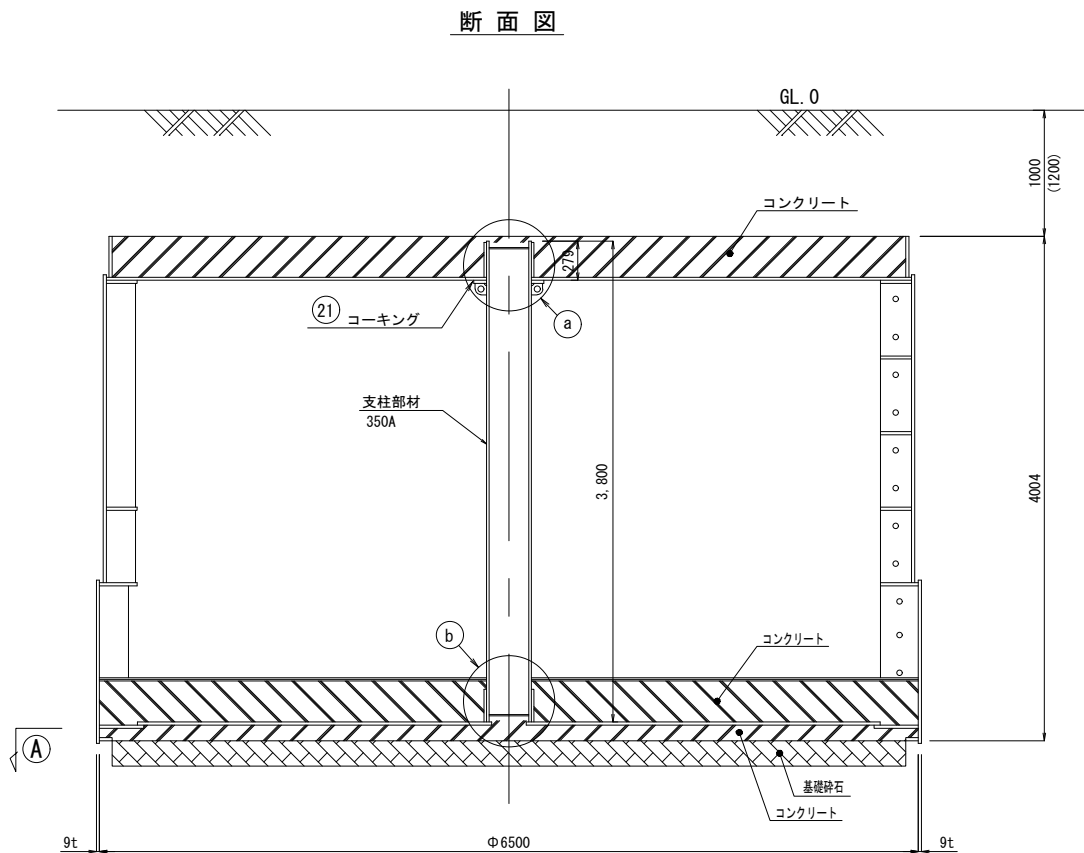


注: ~
1.) 溶接は特記の外脚長4%。
両面連続すみ肉溶接とする。

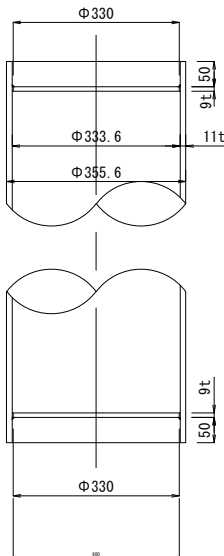
					総重量 (kg)		4021.2
(12)	平座金	M20	SS400	18	0.02	0.4	
	重量の合計 (kg)			1	0.4	0.4	
(11)	ボルト、垫ナット	M20x45L	SS400	18	0.3	5.4	
	ボルト、垫ナット	M20x40L	SS400	12	0.3	3.6	
	重量の合計 (kg)			1	9.0	9.0	
(4)	ダブリングプレート	PL-φ359.6x1/3	SS400	1	7.2	7.2	
	コーミング	PL-3.2x341x6604	SS400	1	56.6	56.6	
	防機材	CT-250x200x10x16x2963	SS400	1	132.7	132.7	
	防機材	L-250x90x10x15x2350	SS400	2	69.1	138.2	
	防機材	L-250x90x10x15x2963	SS400	2	87.1	174.2	
	頂板	PL-9x φ6340x120"	SS400	1	740.8	740.8	
	重量の合計 (kg)			2	1249.7	2499.4	
	ダブリングプレート	PL-φ359.6x1/3	SS400	1	7.2	7.2	
(3)	コーミング	PL-3.2x341x6604	SS400	1	56.6	56.6	
	吸管投入孔	PL-9x φ920-φ660.4	SS400	1	22.8	22.8	
	吸管投入孔	FB.-6x50x30	SS400	3	0.1	0.3	
	吸管投入孔	PL-3.2x φ900x200	SS400	1	14.3	14.3	
	吸管投入孔	650Ax7.9tx1251	STPY400	1	184.4	184.4	
	防機材	CT-250x200x10x16x2963	SS400	1	132.7	132.7	
	防機材	L-250x90x10x15x1076	SS400	2	31.6	63.2	
	防機材	L-250x90x10x15x2350	SS400	2	69.1	138.2	
	防機材	L-250x90x10x15x2963	SS400	2	87.1	174.2	
	頂板	PL-9x φ6340x120"	SS400	1	718.5	718.5	
重量の合計 (kg)			1	1512.4	1512.4		
符号	名称	サイズ	材質	数量	単重	重量	備考

工 事 名			
履行場所			
図 面 名	耐震性貯水槽構造図(5) (参考図)		
縮 尺	1 : 60 (A3)	図面番号	12 / 15
設計年月	令和 5 年 3 月		
横浜 市 建 築 局 公 共 建 築 部 施 設 整 備 課			

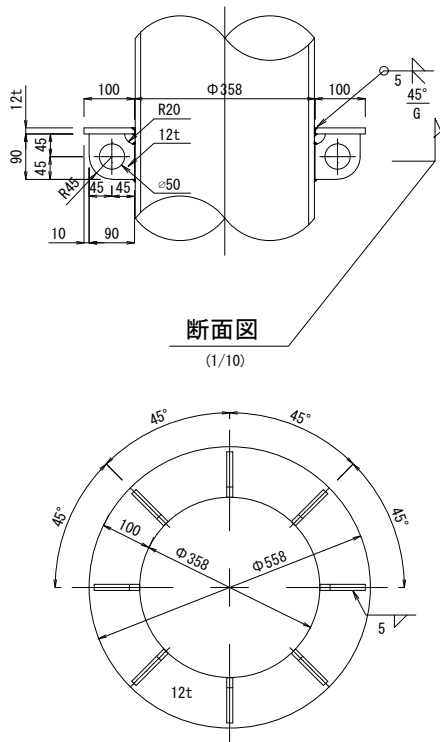
耐震性貯水槽構造図(6)(参考図) 縮尺 1 : 60 (A3)
(支柱詳細図)



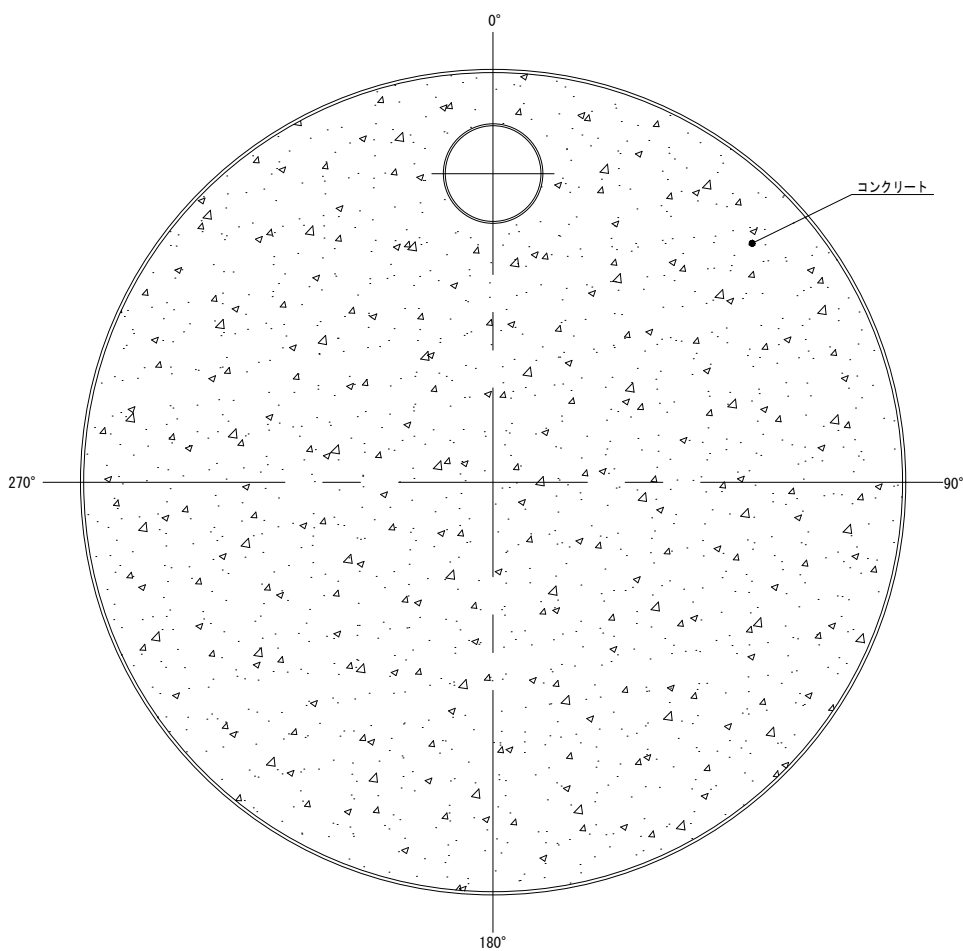
②支柱端部詳細
(1/15)



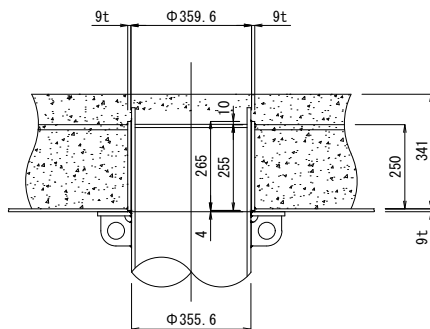
頂版受け金物詳細図
(1/15)



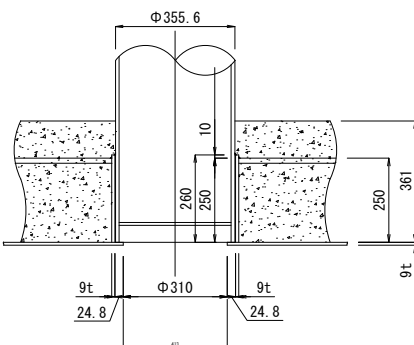
①断面



③詳細図
(Free)



④詳細図
(Free)



注:~
1.) 溶接は特記の外脚長4%。
両面連続すみ肉溶接とする。

総重量 (kg)							388.8
(22)	塞ぎ板	PL-9txφ330	SS400	2	6.0	12.0	
	頂版受け金物 プレート	PL-12tx90x90	SS400	8	0.6	4.8	
	頂版受け金物	PL-12txφ558-φ358	SS400	1	13.6	13.6	
	支柱	350Ax11.1tx3831	STPG	1	358.4	358.4	
	重量の合計 (kg)			1	388.8	388.8	
符号	部材名称	部材サイズ	材質	数量	単重	重量	備考

工 事 名			
履行場所			
図 面 名	耐震性貯水槽構造図(6)(参考図)		
縮 尺	1 : 60 (A3)	図面番号	13 / 15
設計年月	令和 5年 3月		
横 浜 市 建 築 局 公 共 建 築 部 施 設 整 備 課			

※ () は吸管投入孔部の寸法

製作図

工 事 名			
履行場所			
図 面 名	耐震性貯水槽構造図 (7) (参考図)		
縮 尺	1 : 20 (A3)	図面番号	14 / 15
設計年月	令和 5 年 3 月		
横 浜 市 建 築 局 公 共 建 築 部 施 設 整 備 課			

参考資料6 防火水槽の仕様イメージ（戦前設置）

仕様

・図面に記載されていない事項はすべて

昭和57年度防衛施設設計制定土木工事共

通仕様書による。

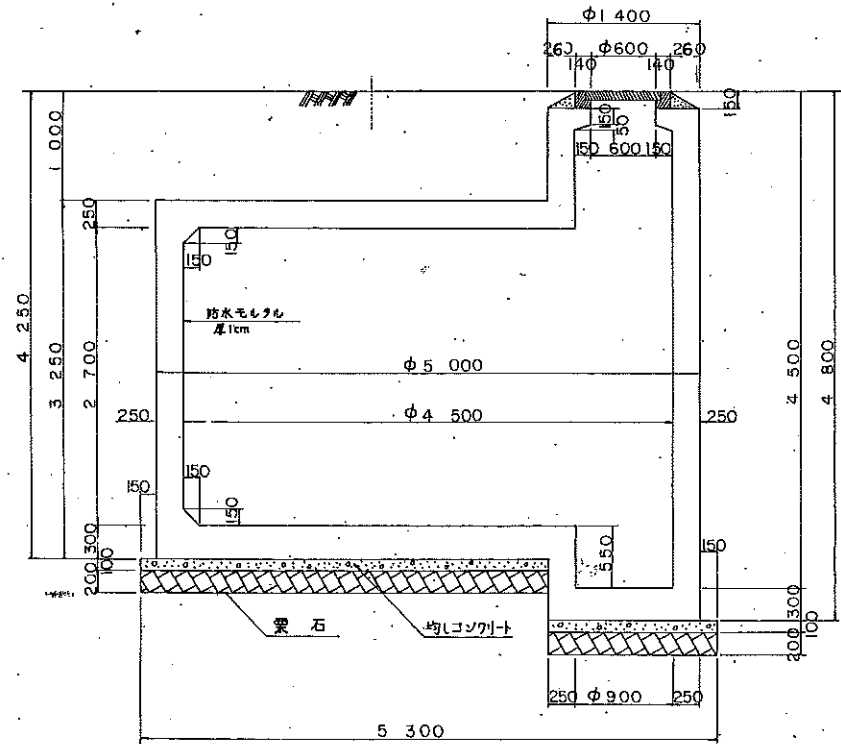
・設計図書の内容に明記がない場合は

相異なる場合はすべて監督員の指示による

40_m³ 防火水そう構造図

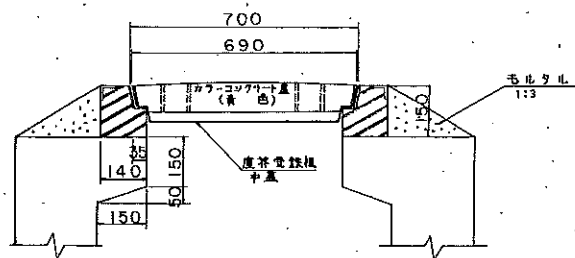
横浜市消防局

躯体構造図 s=1/30

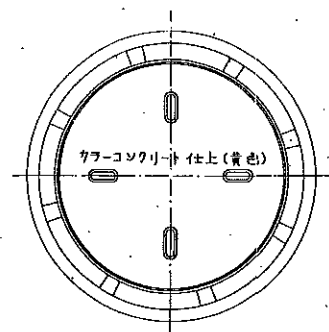


材 量 表			1 基 当 り
品 目	単 位		数 値
コンクリート	m ³	C-210P-25g-8	22.34
鉄 筋	kg	SB24	1347.078
型 枠	m ²		115.32
築 石	m ³	150~200mm	4.41
均しコンクリート	〃	C-160P-40g-5	2.21
防水モルタル	〃		0.74
モ ル タ ル	〃	1:3	0.06
カラーコンクリート蓋	個	横流中型	1.0
蓋 受 け 枠	〃	〃	1.0
塵芥受け中蓋	〃	〃	1.0

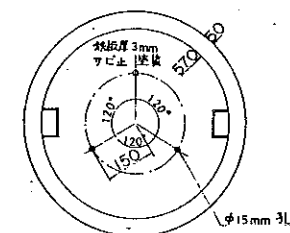
吸管投入孔詳細図 s=1/10



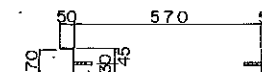
蓋詳細図 s=1/10



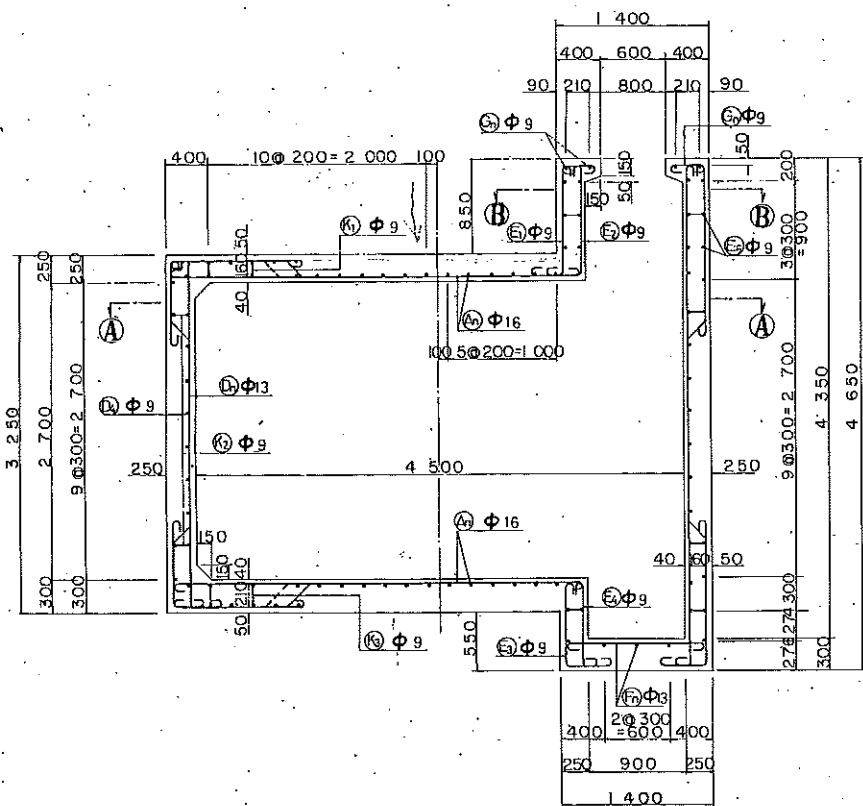
塵芥受鉄板中蓋 s=1/10



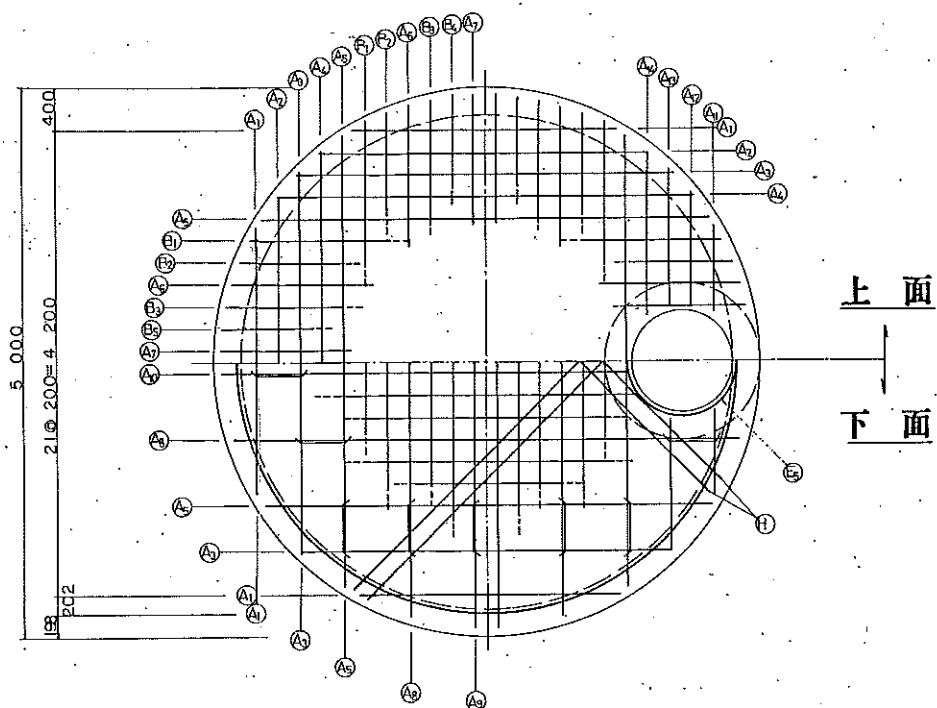
中蓋断面図 s=1/10



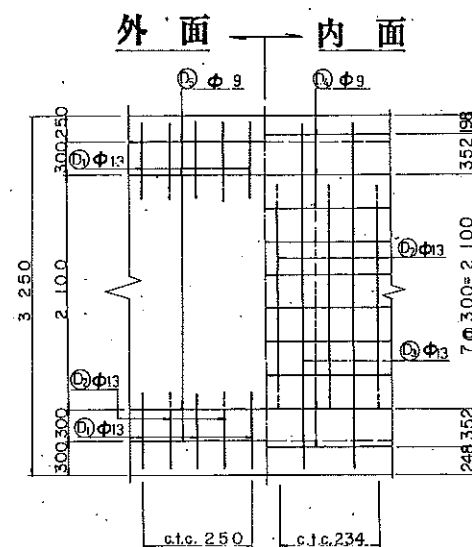
断面図



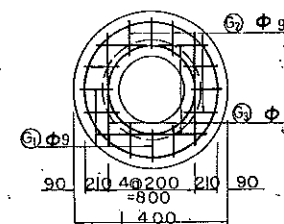
上床版



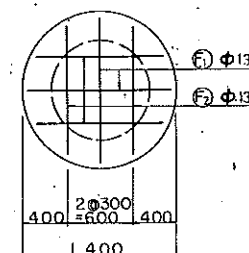
側壁



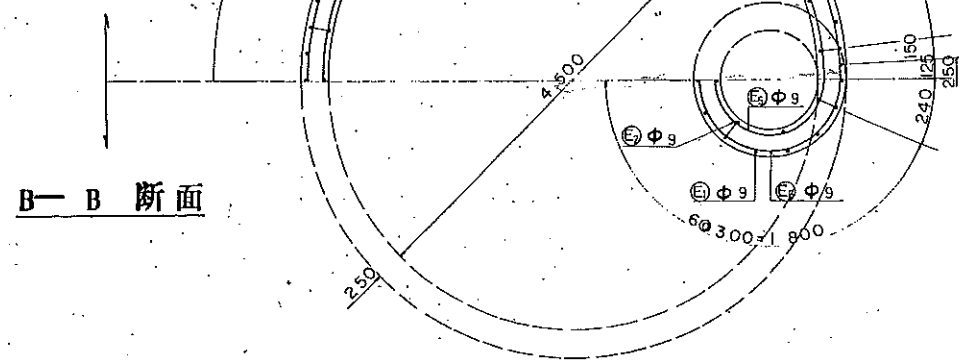
吸管投入孔



ストレーナー入れ底版

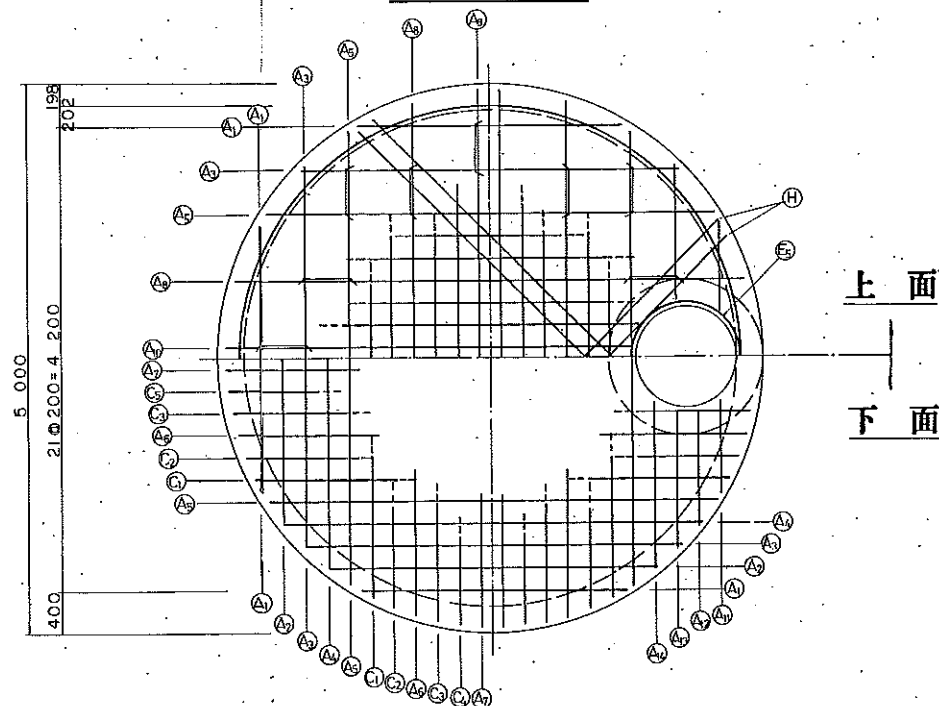


A—A 断面

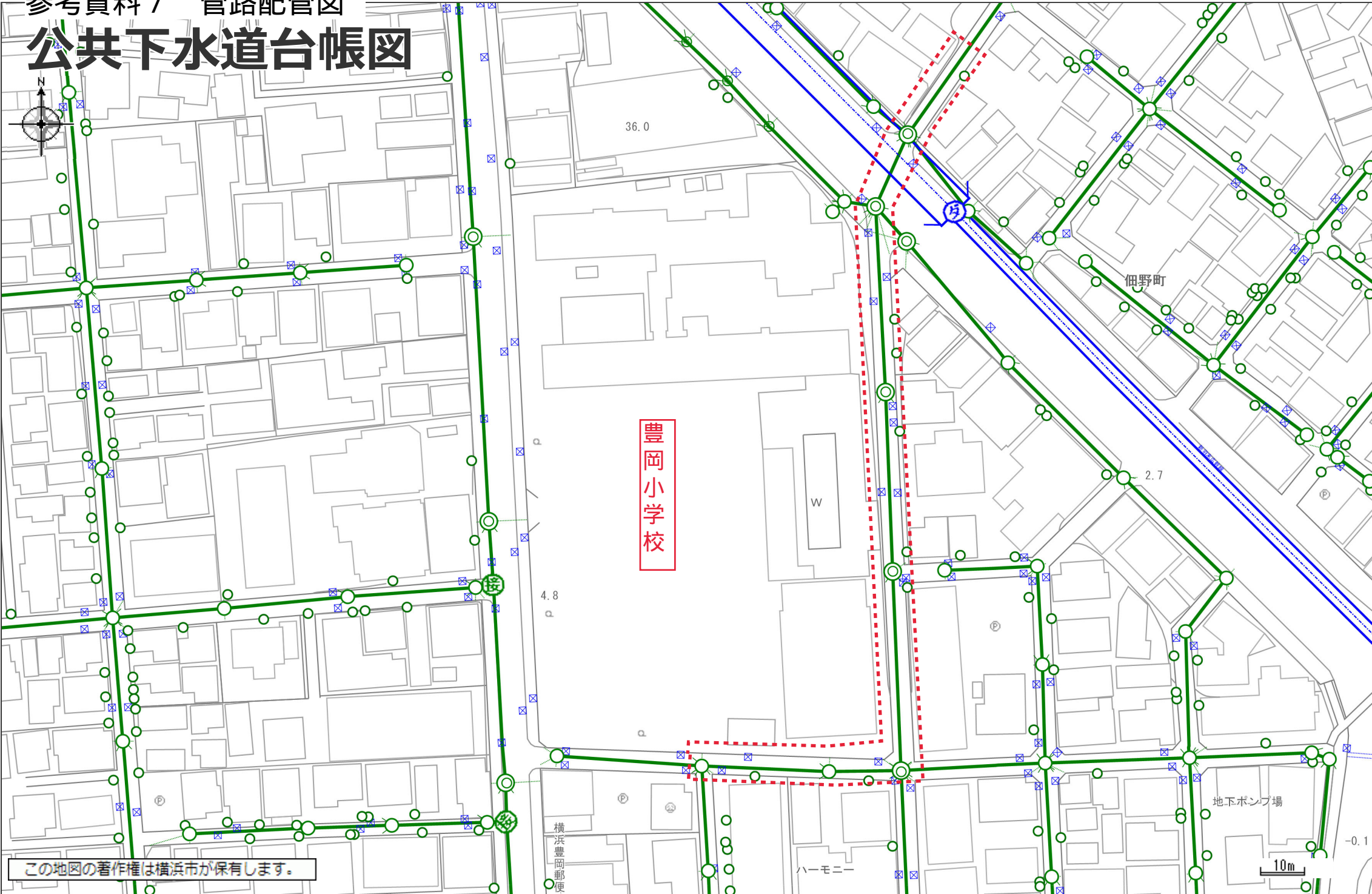


B—B 断面

下床版



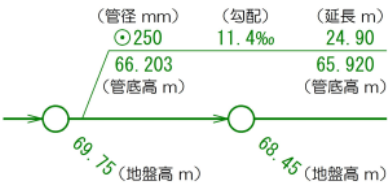
参考資料 7 管路配管図
公共下水道台帳図



部の公共下水道管に
流入するよう、配管検討を
おこなってください。

- (凡 例)
- 合流管及びマンホール
 - 分流污水管及びマンホール
 - 分流雨水管及びマンホール
 - 接続樹 (合流・污水・雨水)
 - 街渠雨水樹
 - 宅地浸透樹
 - 街渠浸透樹
 - 送泥管・圧送管等

- 送泥管・圧送管等 (2条以上)
- 弁類
- 仮想マンホール
- その他設備等



注意：
公共下水道台帳平面図は、できる限り最新で正確な下水道情報の提供に努めておりますが、地形図の更新頻度や、地形図と下水道施設情報を重ね合わせる際に生ずる誤差などにより、現地の状況とは整合しない場合があります。従って、本図面を設計・工事等に利用される場合は、担当部署との協議や、下水道管の状況を現地で確認されるようお願いいたします。
幹線の座標値は、世界測地系で表示しています。

参考資料 8 各施設の利用者数・職員数等現況

1. 新施設への常勤を想定している市職員・委託先職員の予定体制・人数案

1.1. 小学校

※学校推計R11より、現在との学級編制の差異はないとする。

1.1.1. 豊岡小学校の学級編制（令和6年度）

	一般学級							個別支援 学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
実学級数	3	4	4	4	4	3	22	7	29

1.1.2. 豊岡小学校の教職員定数（令和6年度）

校長・教員定数				養護教諭定数	
一般学級	規定分	（校長・副校長含む）	26人	規定分	1人
	規定外	専科指導	1人	規定外	0人
		国際教室	2人	合計	1人
		児童支援専任	1人		
		特別配当（国際）	2人		
個別支援学級等	規定分		7人	事務職員定数	
	規定外	個別支援学級補正	0人	規定分	1人
		<通級>		規定外	2人
		情緒		合計	3人
		ADHD			
		言語難聴			
		通級コーディネーター			
合計		（校長・副校長含む）	39人	栄養教諭・栄養職員定数	
					1人
				教職員総数	
					44人

※校長・教員定数に養護教諭・栄養教諭は含まれません。

※学校用務員：PFIのため職員配置予定なし

※学校給食調理員：12人（社員3人、アルバイト9人）

1.1.3. 常駐職員数

月	火	水	木	金	土	日・祝
51人	51人	51人	51人	51人	0人	0人

1.1.4. 豊岡小学校の想定児童数（令和12年度時点）

- ・ 想定児童数：665人
- ・ 想定学級数：28学級

1.2. 放課後キッズクラブ

1.2.1. 放課後キッズクラブの職員予定数

16人～18人

※利用児童数に応じた職員最低配置基準があり、職員数は増減する。

1.2.2. 職員最低配置基準（参考）

支援の単位数		1単位	2単位	3単位	4単位	5単位	6単位
平日	放課後～16時※	4人	6人	8人	10人	12人	14人
学校 休業 日	クラブが指定する わくわく【区分1】 の利用時間※						
上記以外の時間		2人	4人	6人	8人	10人	12人

※支援の単位とは40人以下の児童を1つの「支援の単位」として一体的に育成支援を行います。

1.2.3. 常駐職員数

月	火	水	木	金	土	日・祝
18人	18人	18人	18人	18人	18人	0人

※利用人数等に応じた単位数を開所するため、上記人数は固定ではなく、増減します。

1.3. 日本語教室

1.3.1. 日本語教室の職員予定数

- ・ 本市職員（会計年度・外国語指導主事助手）：1人
- ・ 日本語講師（会計年度）：5人

1.3.1. 常駐職員数

月	火	水	木	金	土	日・祝
5人	5人	5人	5人	5人	0人	0人

1.4. 保育所

1.4.1. 保育所の職員予定数

- ・本市職員数（正規・会計年度）：45 人
- ・委託先職員（調理委託）：6 人

1.4.2. 常駐職員数

月	火	水	木	金	土	日・祝
25 人	25 人	25 人	25 人	25 人	12 人	0 人

※定員・育児支援事業に見合う配置数を常駐職員数とする。

※職員はシフト勤務で、時間帯により増減する。

1.5. 図書館

1.5.1. 図書館の職員予定数

計 8～10 人

※あくまで延床面積 1,500～3,300 m²の地域図書館における、現在の地域図書館の実人数であり、新たな鶴見図書館の人員については検討中。市の正規職員用の什器類は、予備席含め 15 セット程度を見込むこと。

《内訳（現在の地域図書館体制）》

- ・館長 : 1 人
- ・事務・司書 : 7～9 人

※図書館窓口業務：PFI 事業者が担当するため本市職員配置予定なし

参考：市立図書館事例【2,000～3,000 m²の図書館】

■港北図書館（窓口業務委託）

＜来館者数 432,279 人 貸出冊数 695,908 冊 延床面積 2,372 m²>

- ・市職員人員/館長：1 人、司書：9 人
- ・窓口業務委託スタッフ：業務委託業者で独自に設定

■山内図書館（指定管理）

＜来館者数 440,252 人 貸出冊数 680,449 冊 延床面積 2,147 m²>

下記人員数は指定管理業者で独自に設定

- ・フルタイム職員/館長：1 人、副館長：1 人、職員：11 人（庁舎管理業務除く）
- ・アルバイト職員数：指定管理業者で独自に設定

■都筑図書館（窓口業務委託）

＜来館者数 751,116 人 貸出冊数 1,014,166 冊 延床面積 2,396 m²>

- ・市職員/館長：1 人、司書：9 人
- ・窓口業務委託スタッフ：業務委託業者で独自に設定

■戸塚図書館（窓口業務委託）

＜来館者数 551,737 人 貸出冊数 660,770 冊 延床面積 3,386 m²>

- ・市職員人員/館長：1 人、司書：7 人
- ・窓口業務委託スタッフ：業務委託業者で独自に設定

※来館者数、貸出冊数は令和 4 年度実績

1.5.2. 常駐職員数

館長 1 人、司書 9 人体制の館における勤務体制の実例

月	火	水	木	金	土	日・祝
4 人	10 人	10 人	10 人	10 人	3 人	3 人

1. 6. 区民活動センター

1. 6. 1. 直営とした場合の職員予定数

- ・会計年度任用職員：12 人

(社会教育指導員 (月額) 1、センター職員 (月額) 4、窓口対応 (日額) 7)

1. 6. 2. 委託とした場合の職員予定数

- ・センター長 1 人、コーディネーター (職員) 4 人、窓口スタッフ 7 人

(センター職員 4、社会教育指導員 1、窓口対応 7)

1. 6. 3. 常駐職員数

月	火	水	木	金	土	日・祝
3 人	3 人	3 人	3 人	3 人	3 人	3 人

1. 7. 地域子育て支援拠点

1. 7. 1. 地域子育て支援拠点の職員予定数

- ・委託先職員：常勤 5 人、非常勤 3～4 人

※基本、9時から17時勤務（1時間休憩）

※非常勤の人数は、開催イベントによって異なります。

1. 7. 2. 常駐職員数

月	火	水	木	金	土	日・祝
8 人	8 人	8 人	8 人	8 人	8 人	8 人

2. 施設の現在の施設概要・利用状況・登録状況等

2.1. 小学校

- (1) 施設名 : 豊岡小学校
 (2) 運営主体 : 横浜市
 (3) 学級編成 (令和6年5月時点)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	個別支援 学級	合計
3	4	4	4	4	3	7	29

- (4) 職員数 : 本市職員数 (正規・会計年度) : 44 人
 委託先職員 (調理委託) : 12 人

2.2. 放課後キッズクラブ

- (1) 施設名 : 豊岡小学校放課後キッズクラブ
 (2) 運営主体 : 株式会社スマイルクルー (令和6年4月1日時点)
 ※公設民営、運営は主に補助金によります。運営主体は公募により選定され、選定期間は5年間です。現法人の運営期間は、令和4年4月～令和9年3月。
 (3) 開所日 : 月曜～土曜 (日曜・祝日・年末年始 (12/29～1/3) を除く)
 (4) 開所時間 : 平日 放課後から 19 時 00 分
 土曜 8 時 30 分から 19 時 00 分
 学校休業日 8 時 00 分～19 時 00 分
 ※学校休業日は、春季・夏季・冬季・学年末休業日、開港記念日、学校行事の振替休日を指します。なお、学校休業日の土曜の開所時間は土曜と同様。
 (5) 受入児童 : 小学1年生～6年生
 (6) 定員数 : 170 人 (令和6年4月1日時点)

【参考】横浜市放課後キッズクラブの概要

利用区分		わくわく 【区分1】	すくすく【区分2】	
			ゆうやけ 【区分2A】	ほしぞら 【区分2B】
利用目的		遊びの場	遊びの場＋生活の場	
利用時間	平日	放課後から午後4時まで	放課後から午後5時まで	放課後から午後7時まで
	土曜日	なし ※プログラム特例のある日の参加は可(月1回程度)	午前8時30分～ 午後5時まで	午前8時30分～ 午後7時まで
	学校休業日 (土曜日を除く)	1日2時間まで(午前または午後) ※プログラム特例のある日の参加は可(週1回程度)	午前8時～午後5時まで	午前8時～午後7時まで
利用料金		無料	2,000円 (7・8月は2,500円)	5,000円 (7・8月は5,500円)
活動場所		専用及び兼用ルーム、体育館、校庭など ※すくすく【区分2】のみ面積基準あり(児童1人あたり1.65㎡)		

2.3. 日本語教室

- (1) 施設名 : 横浜市日本語教室 豊岡教室
- (2) 運営主体 : 横浜市
- (3) 開所日 : 火曜、金曜（祝日・学校閉庁期間を除く）
- (4) 開所時間 : 13 時 00 分から 17 時 00 分（面談時は 18 時まで）
- (5) 対象 : 横浜市立の中・義務教育学校及び豊岡小学校に在籍している日本語の
初期指導が必要な児童生徒
- (6) 利用状況・登録状況
 - ・令和 6 年度通級人数 : 76 人（在籍数）
 - ・日本語講師 : 3 人

2.4. 保育所

- (1) 施設名 : 横浜市鶴見保育園
- (2) 運営主体 : 横浜市
- (3) 開所日 : 月曜～土曜（祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く）
- (4) 開所時間 : 平日 7 時 00 分から 19 時 00 分
土曜 7 時 30 分から 18 時 30 分
- (5) 受入児童 : 生後 6 か月から
- (6) 定員数・利用状況（令和 6 年 4 月 1 日時点）

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
定員数	7	21		20	48		96
入所 児童数	3	7	12	21	17	21	81
		19			38		

- (7) 地域子育て支援事業
 - ・育児支援センター園（※）として、週 5 日間、子育て中の親子の交流の場の提供、子育てに関する相談、地域の子育て情報の提供、子育てに関する講習等を実施。

■令和 6 年度実施内容

- ・育児相談（来所または電話）：月～金曜日 9 時 30 分～16 時 00 分
（R5 年度相談件数：約 400 件）
- ・施設開放（令和 5 年度利用延べ数：約 2,200 人）
- ・園庭開放：月～金曜日 9 時～14 時（夏季は泥んこ遊び・水遊びあり）
- ・育児支援室開放：月～金曜日 9 時 30 分～12 時（授乳・おむつ替えも可）
- ・交流保育：年間 12 回（R5 年度参加延べ数：約 70 人）
- ・育児講座：年間 4 回（R5 年度参加延べ数：約 70 人）

（※）育児支援センター園

市立保育所では、子育ての不安や悩みの解消、乳幼児期の子どもの健やかな成長及び地域の育児力の向上を図ることを目的に、すべての園で地域の子育て支援を週 1 日以

上実施。そのうち 24 園は、育児支援センター園として週 5 日以上実施。

(8) ネットワーク事務局園

横浜市立保育所 54 園を「ネットワーク事務局園」として指定。地域の民間保育所等との「つなぎ役」と なって、保育施設全体の保育の質の向上に取り組む役割を担う。

2.5. 図書館

(1) 施設名 : 横浜市鶴見図書館

(2) 運営主体 : 横浜市

(3) 開所日 : 年末年始 (12/29~1/3) を除く毎日

(月 1 日の施設点検日、年 3 日の図書特別整理日は休館)

(4) 開所時間 : 火曜日～金曜日 : 9 時 30 分～19 時、

土曜日・日曜日・月曜日・祝日・12 月 28 日 : 9 時 30 分～17 時、

1 月 4 日 : 正午～17 時

(5) 職員数

11 人

館長 1 人

事務 1 人

司書 6 人

会計年度任用職員 (月額) 3 人

(6) 利用状況・登録状況

入館者数 : 234,949 人 (一日平均 687.0 人)

貸出利用者数 : 116,079 人 (一日平均 339.4 人)

貸出冊数 : 389,366 冊 (一日平均 1,138.5 冊)

予約受付冊数 : 11,676 冊 (一日平均 34.1 冊)

登録者数 : 38,224 人 (うち新規登録者 2,287 人)

※令和 5 年度は図書館情報システム更新のため臨時休館 (12/25~1/14) したため、令和 4 年度実績を記載

(7) 月次利用者数 (入館者数・令和 4 年度)

鶴見図書館

(単位 : 人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
19,720	20,670	18,404	21,995	22,014	19,933	20,130	19,334	17,119	18,199	17,221	20,210

港北図書館

(単位 : 人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
36,681	38,939	37,179	38,232	40,311	36,595	37,346	35,187	29,090	32,796	33,608	36,315

山内図書館

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
35,119	37,936	34,539	41,683	41,930	38,233	38,240	36,230	30,651	33,836	34,776	37,079

都筑図書館

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
60,534	64,162	63,527	66,923	73,334	64,407	64,866	60,975	55,703	57,311	58,469	60,905

戸塚図書館

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
47,687	49,494	44,306	50,957	50,149	45,262	47,096	44,218	40,151	42,023	42,365	48,029

2.6. 区民活動センター

- (1) 施設名 : つるみ区民活動センター
- (2) 運営主体 : 横浜市
- (3) 開所日 : 月曜～土曜・祝日(日曜・年末年始(12/29～1/3)・施設点検日を除く)
- (4) 開所時間 : 月～土曜日 8時45分から17時00分
第3水曜日 8時45分から21時00分(祝日の場合は17時まで)
- (5) 利用方法 : 会議室の予約や貸ロッカー利用には、利用登録が必要
- (6) 利用状況・登録状況 :
- ・登録団体数 : 84団体(令和6年12月時点)
 - ・ボランティア人材バンク「鶴見人ネット」登録者数 : 131件(令和6年12月時点)
- (7) 月次利用者数(令和6年度)

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
518	451	364	415	389	471	459	441	960	480	475	552

2.7. 地域子育て支援拠点

- (1) 施設名 : 鶴見区地域子育て支援拠点
- (2) 運営主体 : 社会福祉法人 青い鳥(令和6年4月1日時点)
※運営主体は公募により選定され、選定期間は5年間です。
※現法人の運営期間は、令和5年4月～令和10年3月
- (3) 開所日 : 火曜～土曜
(日曜・月曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)・特別休館日を除く)
- (4) 開所時間 : 9時30分から15時30分
- (5) 対象 : 妊娠中の方とご家族、0歳から未就学児とその保護者、地域の子育てを応援したい人
- (6) 利用方法 : 横浜地域子育て支援拠点サイトの登録が必要(無料)

(7) 利用状況・登録状況

・令和5年度登録人数

プレパパ・プレママ : 97 人

子ども : 694 人

・令和5年度延べ利用人数 : 14,765 人

(内訳)

子ども : 7,208 人

子ども以外 (父・母・祖父・祖母・プレパパ・プレママ等) : 7,557 人

(8) 月次利用者数 (令和6年度)

(単位 : 人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1,186	1,149	1,251	1,137	1,134	1,352	1,327	1,348	1,352	1,335	1,588	1,590